

# 国土造りプロジェクト構想 11

～安全・快適で豊かな国土造りのために～

## 【沖縄本島ツインゲートウェイ構想】

～北部空港整備と南北交流軸強化による沖縄北部振興～



2022年3月

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

国土・未来プロジェクト研究会

## まえがき

狭隘かつ急峻な国土しか持たないこの国を、世界でも有数の高い経済活動を営む国へと創り上げた要因の一つは、国を挙げての国土基盤づくりの事業であった。

戦いで荒廃した国土の復興からはじまったこの70年余を見ても、空港、港湾や高速道路、新幹線のような大規模交通施設をはじめ、各種都市施設や防災施設、産業施設など大規模施設から、国民の日常生活を支える各種施設に至るまで、膨大な社会資本がこの間に蓄積された。

その間、国民は国づくり、街づくりについて多くの夢や意見を持ち、その実現にむけて積極的な行動を行ってきた。こうした中でいくつかの構想がつくられ、あるものは実現して現在の貴重なインフラとなって現世代に活用され、あるものは激しい議論の中で消えていった。行政の中では、多くの構想について検討がなされ、それらの実現に向けての努力は続けられ、政治やメディアはそれを支持し、時には反対に動いた。

しかし、今世紀に入る頃から、我が国社会でのこのような活動は目に見えて下火となっていった。経済の停滞と財政のひっ迫、そして国民の飽食意識や行政の守勢的姿勢などが、この国土整備への投資努力をうしろ向きにしてしまった。とくに大規模な国土基盤整備事業については、その構想を示すことに対してさえ、ネガティブな論調が示される向きが見られるほどになった。

近年の自然災害は激甚さを増している。また、経済の停滞はまたたく間に国民の所得水準を欧米のそれに大きく下廻るようにし、アジア周辺国の後じんをも拝するようになった。

長い歴史的蓄積を持つ欧米諸国はすでに充分かとさえ思われた国土のインフラをさらに改善し、より豊かな社会活動と国民生活のため、そして地域の文化振興のために、増強しつつある。

こうした現状から脱皮するために、我が国は必要とされる基盤施設を国民が再び構想し、実現に向けて努力することが必要と考える。

無論、社会が必ずしも必要としない施設に巨費を投ずる愚は避けねばならない。しかし、この国土をより安全かつ快適で豊かなものとし、そこで活動をより効率的にし活性化するための投資は、続く世代とその先の未来のために広く国民全体で構想してゆくことが必要である。

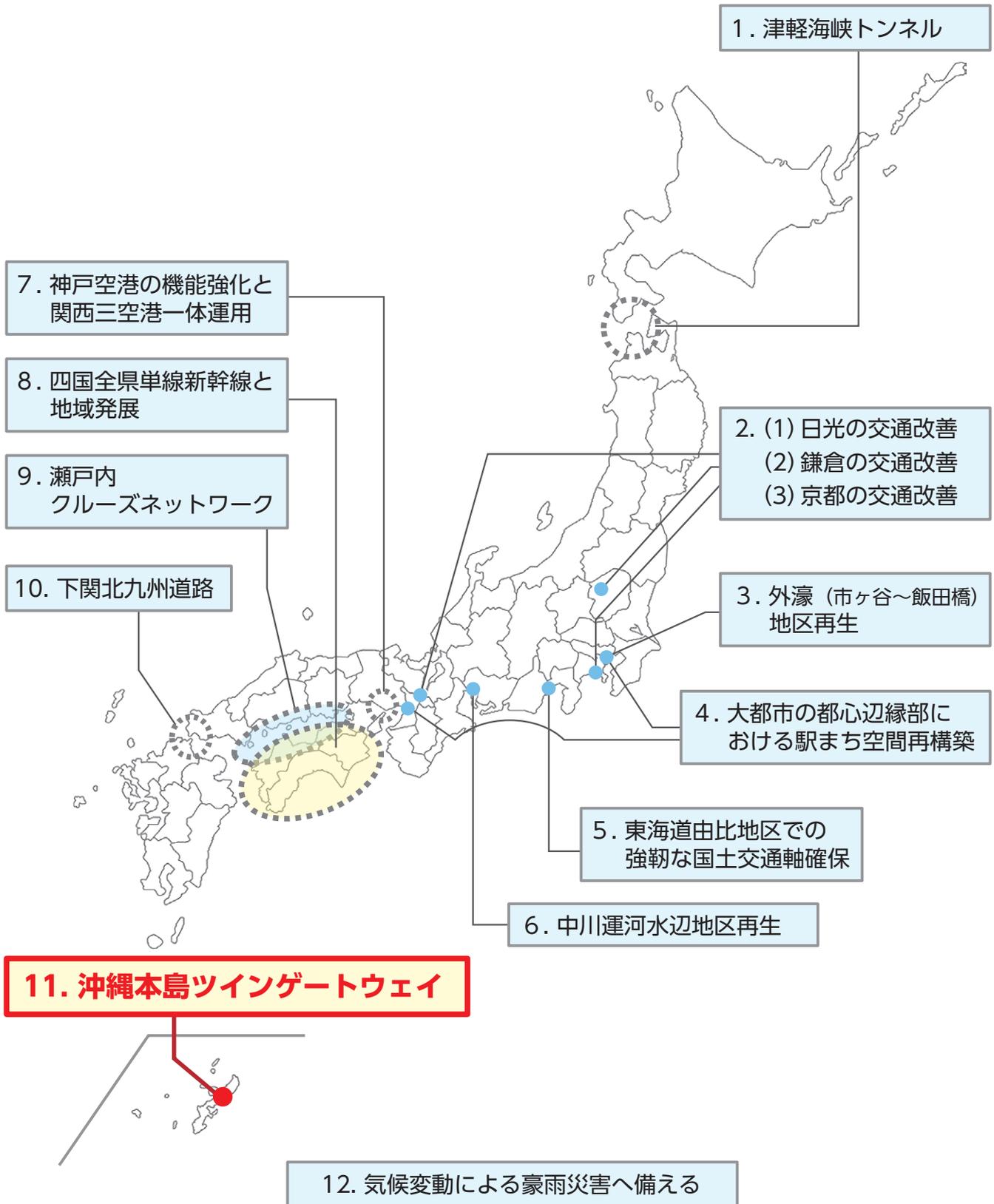
新型コロナ感染症によって多大の損傷を被った世界の各国は、今後長期間にわたり、その回復とさらにその先の発展へ向けて、激的な成長競争を進めるに違いない。そのとき、今後の発展へ向けての国土基盤への投資の多寡と適否はその国土の将来に対し支配的な影響を持つに違いない。

日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）の構想提案書はそのような考えのもと、今後必要性が高く、かつ実現可能性も高い事業として、どのようなものが考えられるか、また、その実現にはどのような制度的（財源的）、技術的な方法があり得るかについて、JAPICを舞台に糾合した主として建設関係の中核的な専門家の未来研究会が創り上げたものである。行政や経済界の関係者をはじめとする多くの方々がそれぞれの地域での今後の新しい事業を構想するにあたって、この構想提案書を参考とされることを期待するものである

日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）

副会長 中村 英夫

# ～国土造りプロジェクト構想（重点プロジェクト）～



# 目次

## Contents

1. 沖縄北部地域の現状 .....	1
2. 沖縄北部振興の課題と対応策 .....	11
3. 観光振興型の地域空港整備事例 .....	14
4. 沖縄北部振興策の提案 .....	16
5. 事業イメージ .....	18
6. 事業推進方策 .....	40
7. プロジェクトの効果 .....	42
【沖縄本島ツインゲートウェイ構想】 検討者名簿 .....	46
JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 委員名簿 .....	47

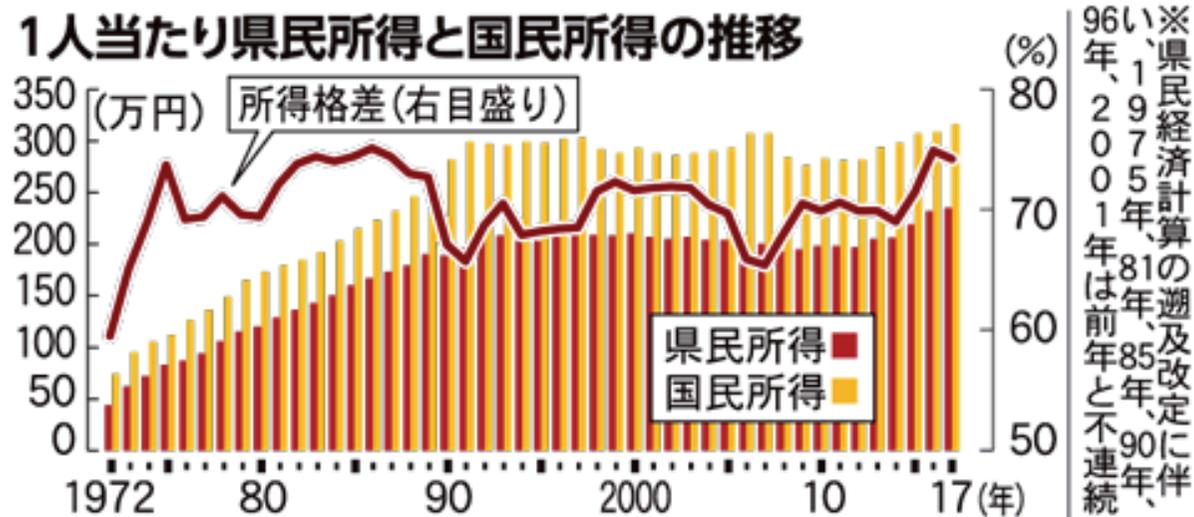
# 1. 沖縄北部地域の現状 (1) 県土全体の経済・交通

## ① 本土との経済格差

- ・ 沖縄県民の**所得は全国平均の約75%**
- ・ **失業率は全国平均を上回る**（近年差は縮小傾向）
- ・ 地元商店街の衰退、東京資本の台頭

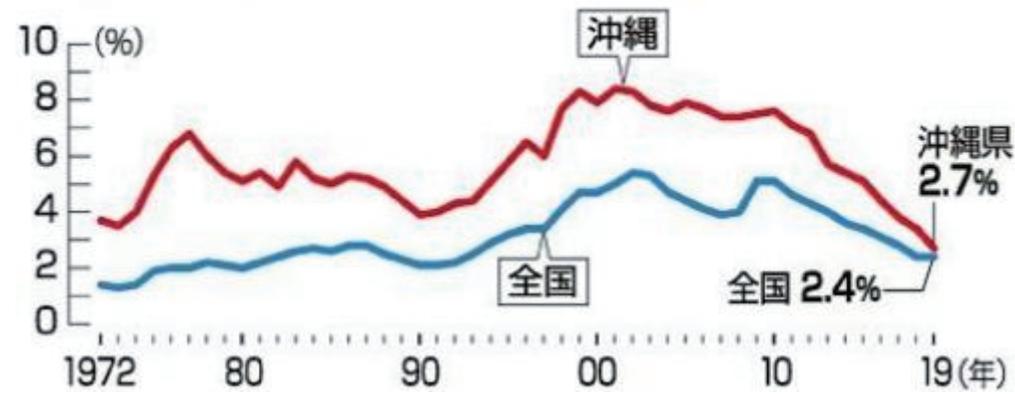
## ② 県土南北の経済格差

- ・ 一人当たり市町村民所得は、県合計を100とすると、**那覇市の112.9**に対して**北部は95.9**（平成29年度）
- ・ 那覇一極集中による**防災・防衛面での不安**
- ・ **観光産業主体の北部経済**



出典：琉球新報2021年5月15日)

### 失業率の推移 (資料)総務省、沖縄県、「労働力調査」



出典：沖縄新報(2020年2月5日)

### 地域別1人あたり市町村民所得の概要

	1人あたり所得 (千円)			増加率 (%)		所得水準 (県=100)		
	27年度	28年度	29年度	28/27	29/28	27年度	28年度	29年度
沖縄県	2,192	2,315	2,349	5.6	1.5	100.0	100.0	100.0
北部	2,086	2,216	2,253	6.2	1.7	95.2	95.7	95.9
中部	2,091	2,188	2,232	4.6	2.0	95.4	94.5	95.0
南部	2,135	2,256	2,284	5.7	1.2	97.4	97.5	97.2
那覇	2,477	2,629	2,652	6.1	0.9	113.0	113.6	112.9
宮古	2,003	2,189	2,193	9.3	0.2	91.4	94.6	93.4
八重山	2,373	2,546	2,573	7.3	1.1	108.3	110.0	109.5

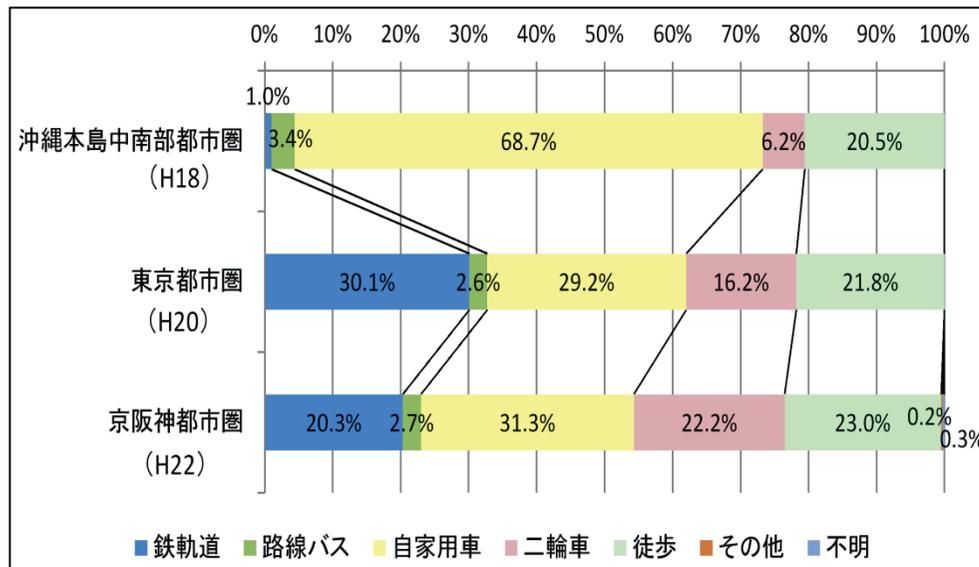
出典：平成29年度沖縄県市町村民所得

# 1. 沖縄北部地域の現状

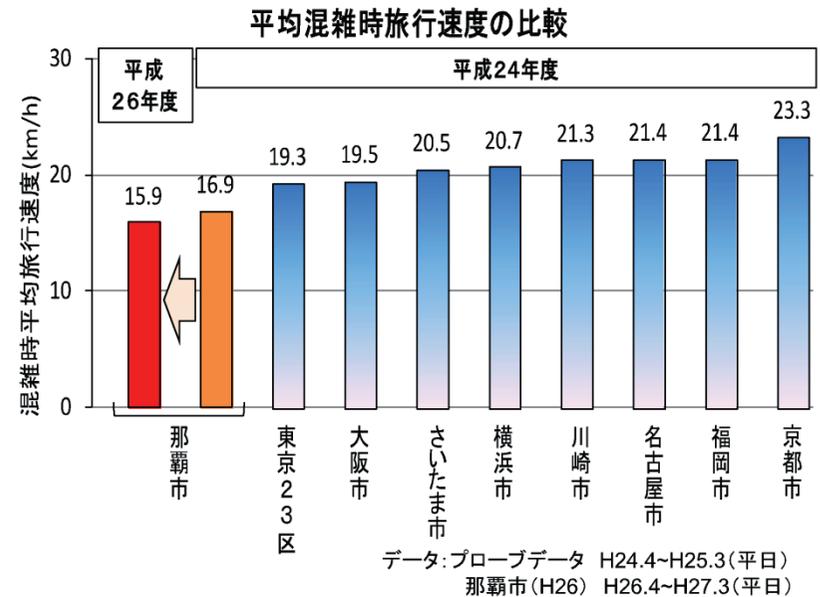
## (1) 県土全体の経済・交通

### ③クルマ依存社会

- ・ **移動の約70%が自動車に依存**  
(沖縄本島中南部都市圏PT調査)
- ・ **観光客の75%以上はレンタカー利用**  
(内閣府県民意識等実態把握調査)
- ・ **那覇都心の交通渋滞は全国一位**



出典：各都市圏パーソントリップ調査データに基づき作成



出典：平成28年度第2回沖縄地方渋滞対策推進協議会資料

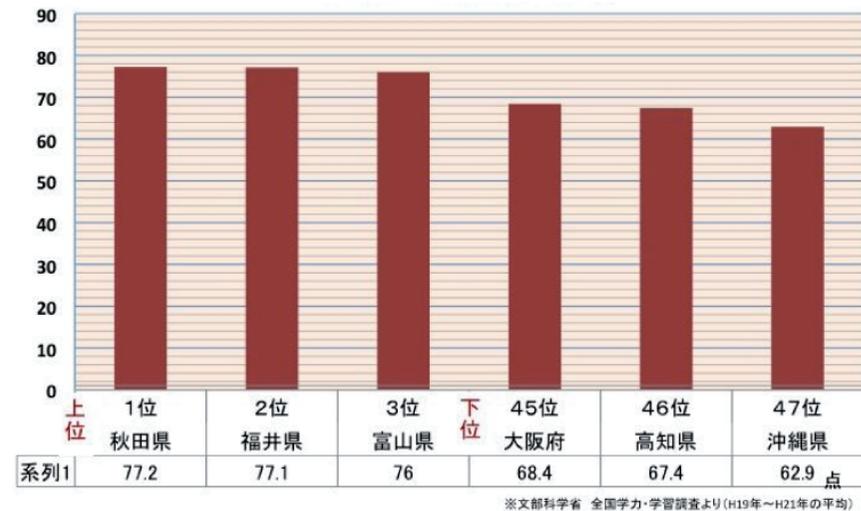
# 1. 沖縄北部地域の現状 (1) 県土全体の経済・交通

## ④ クルマ依存社会の弊害 (健康、教育)

- **肥満率が高い** (歩かない、学区制の小学校でも親が送り迎え)
- **全国学力調査で最下位** (公共交通が不便なため高等教育を受ける機会が損失、名護市等から那覇市の学校・塾へ通えない)



出典: 那覇市小児生活習慣病健診結果



出典: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

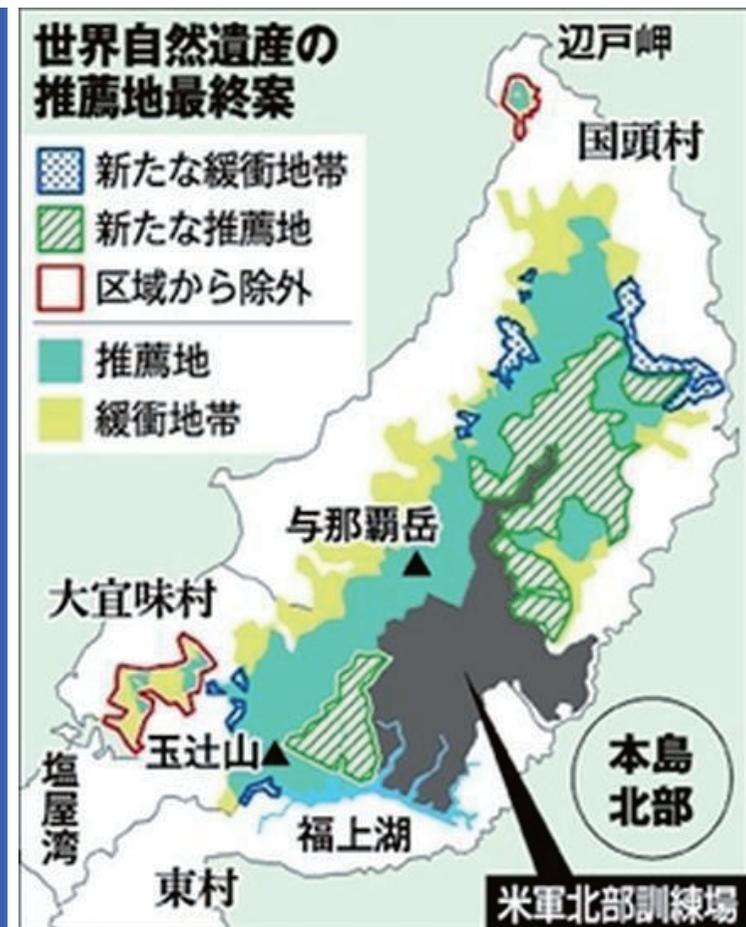
# 1. 沖縄北部地域の現状 (2) 沖縄北部の観光・交通

## ① 観光ポテンシャルと利用実態

- ・ 沖縄北部地域の点在する観光資源
- ・ やんばるエリアは**世界自然遺産登録**の見通し（生物多様性）



出典: [https://www.okinawabbtv.com/map/travel/kankou/kankou\\_hokubu.htm](https://www.okinawabbtv.com/map/travel/kankou/kankou_hokubu.htm)

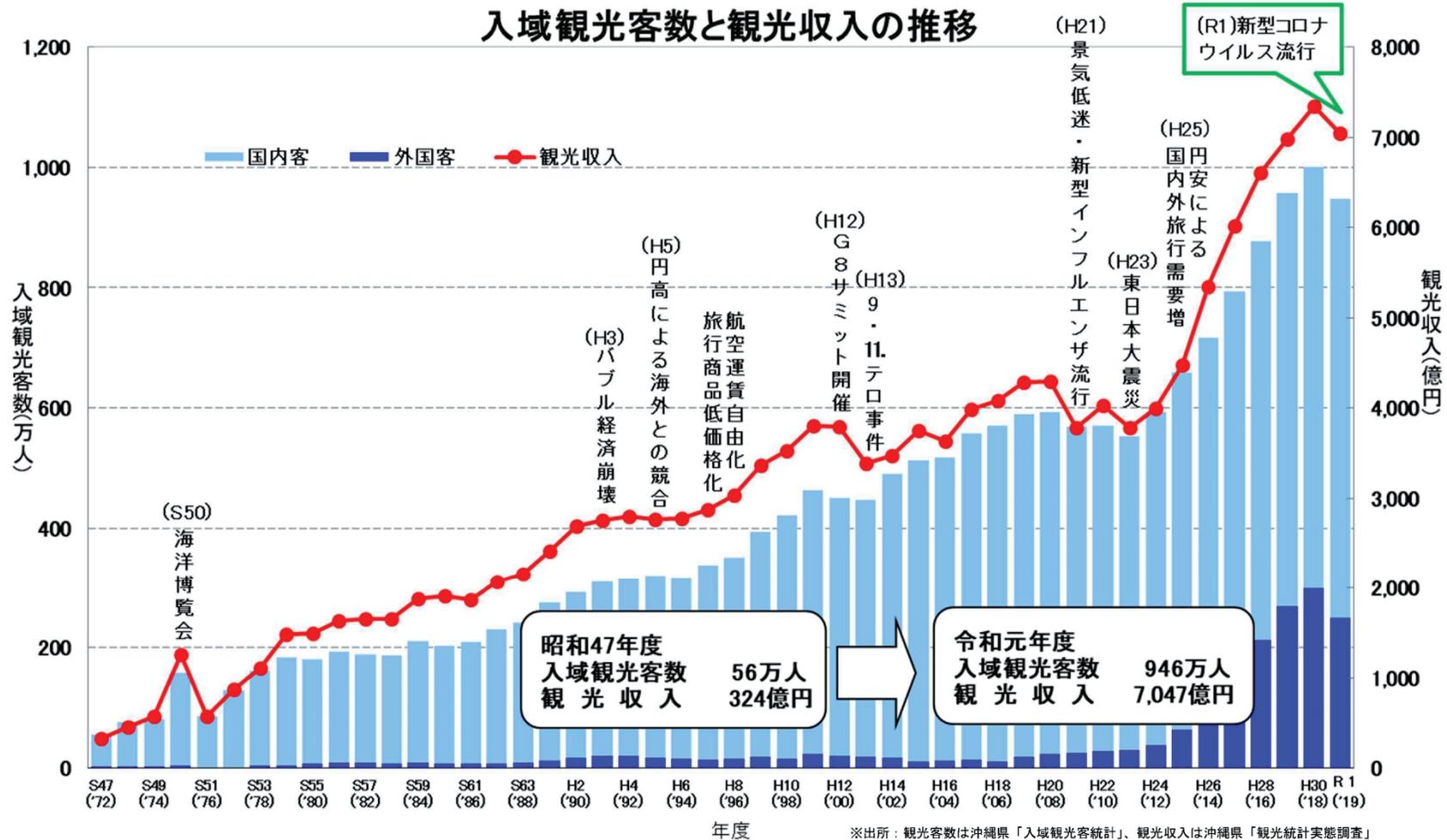


出典: 琉球新報(2019年1月18日)

# 1. 沖縄北部地域の現状 (2) 沖縄北部の観光・交通

## ① 観光ポテンシャルと利用実態

・沖縄全土への観光客数は**インバウンドを中心に増加**（コロナ禍前）

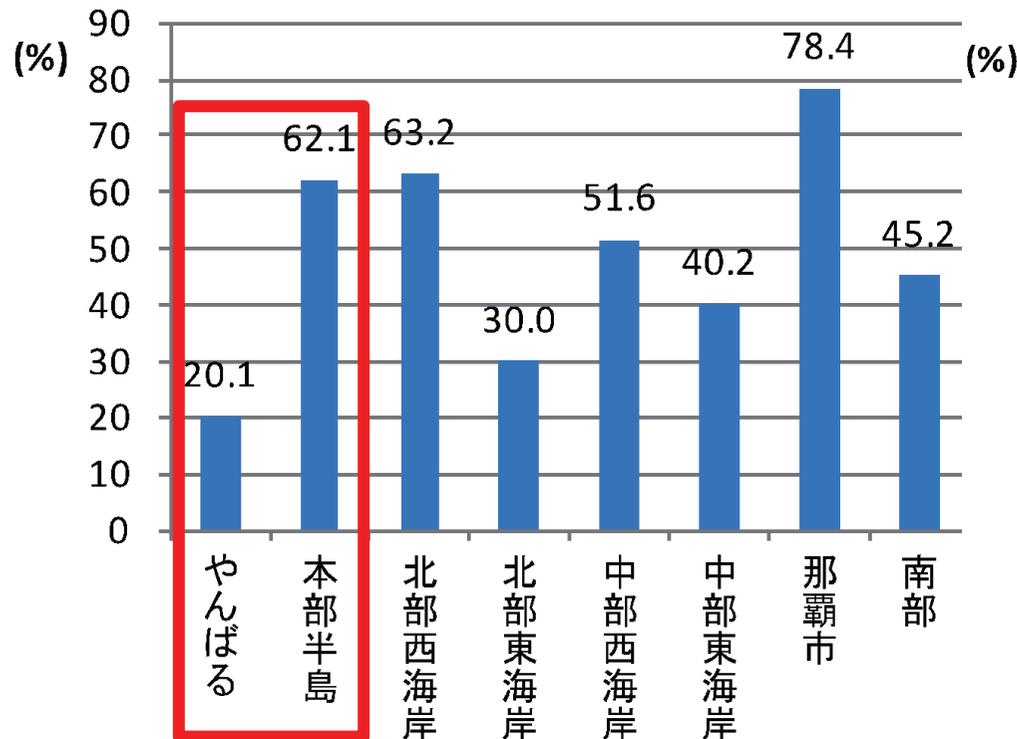


# 1. 沖縄北部地域の現状 (2) 沖縄北部の観光・交通

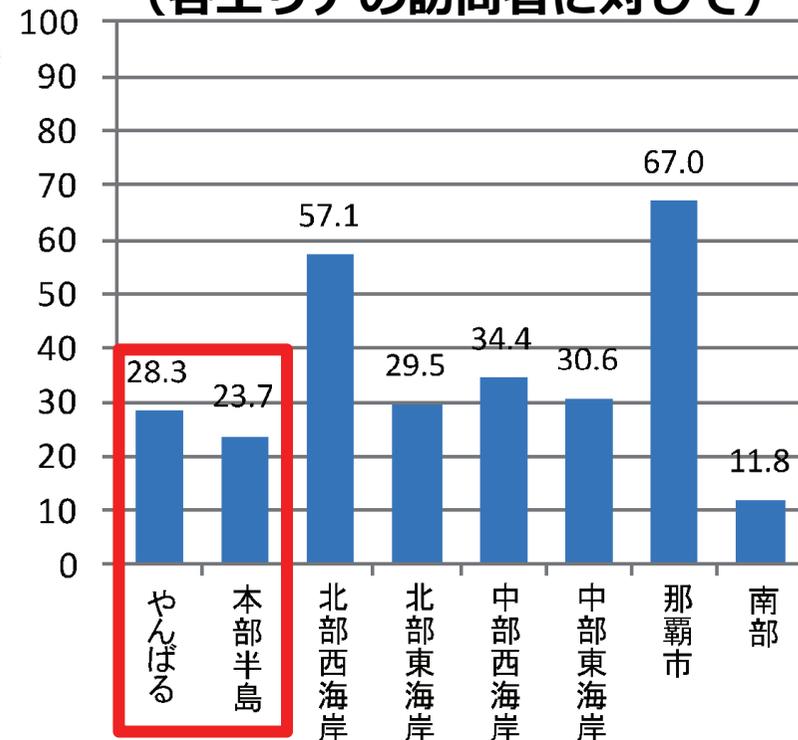
## ① 観光ポテンシャルと利用実態

- ・本部半島は観光客の訪問率は高いものの、**宿泊率が低い**
- ・**やんばるエリアの訪問率は約2割と低い**

### 観光客の訪問率



### 観光客の宿泊率 (各エリアの訪問者に対して)

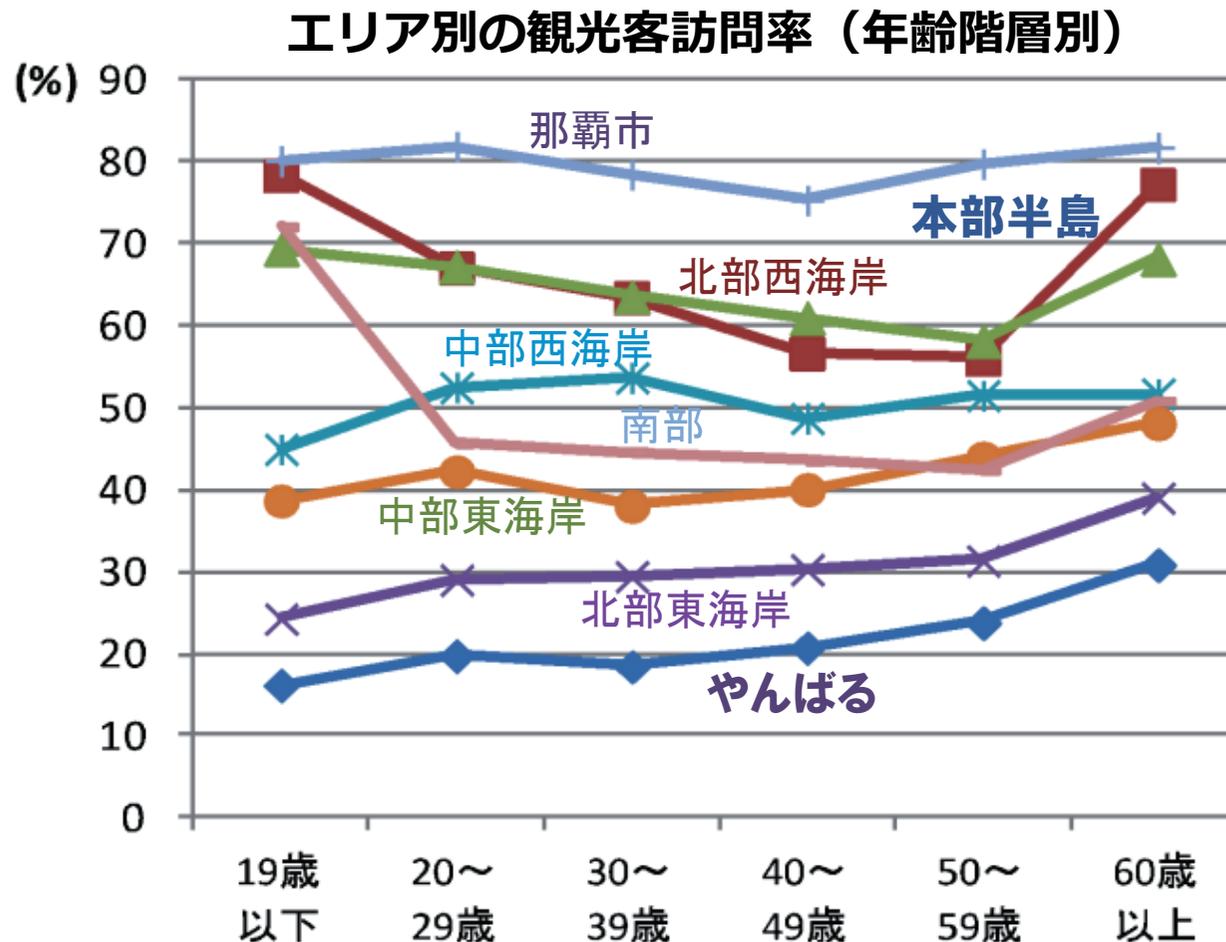


出典: 平成24年度戦略的リポーター創造事業報告書(沖縄県)

# 1. 沖縄北部地域の現状 (2) 沖縄北部の観光・交通

## ① 観光ポテンシャルと利用実態

- ・本部半島は、**交通弱者（若年層、高齢層）の訪問率が高い**



出典：平成24年度戦略的リピーター創造事業報告書（沖縄県）

# 1. 沖縄北部地域の現状 (2) 沖縄北部の観光・交通

## ② 観光客の動きと交通への影響

- ・観光バスやレンタカーなどを利用し、年間約500万人の観光客が那覇空港から高速道路と一般道路を**通って**国営記念公園に来場



# 1. 沖縄北部地域の現状

## (2) 沖縄北部の観光・交通

### ② 観光客の動きと交通への影響

- ・ 観光客の75%以上はレンタカー利用
- ・ 国道58号（名護市中心部）でクルマ観光による交通渋滞



写真- 海洋博公園花火大会時の交通状況  
 左) 国道58号数久田歩道橋より道の駅許田方面  
 右) 国道58号数久田歩道橋より世富慶交差点方面



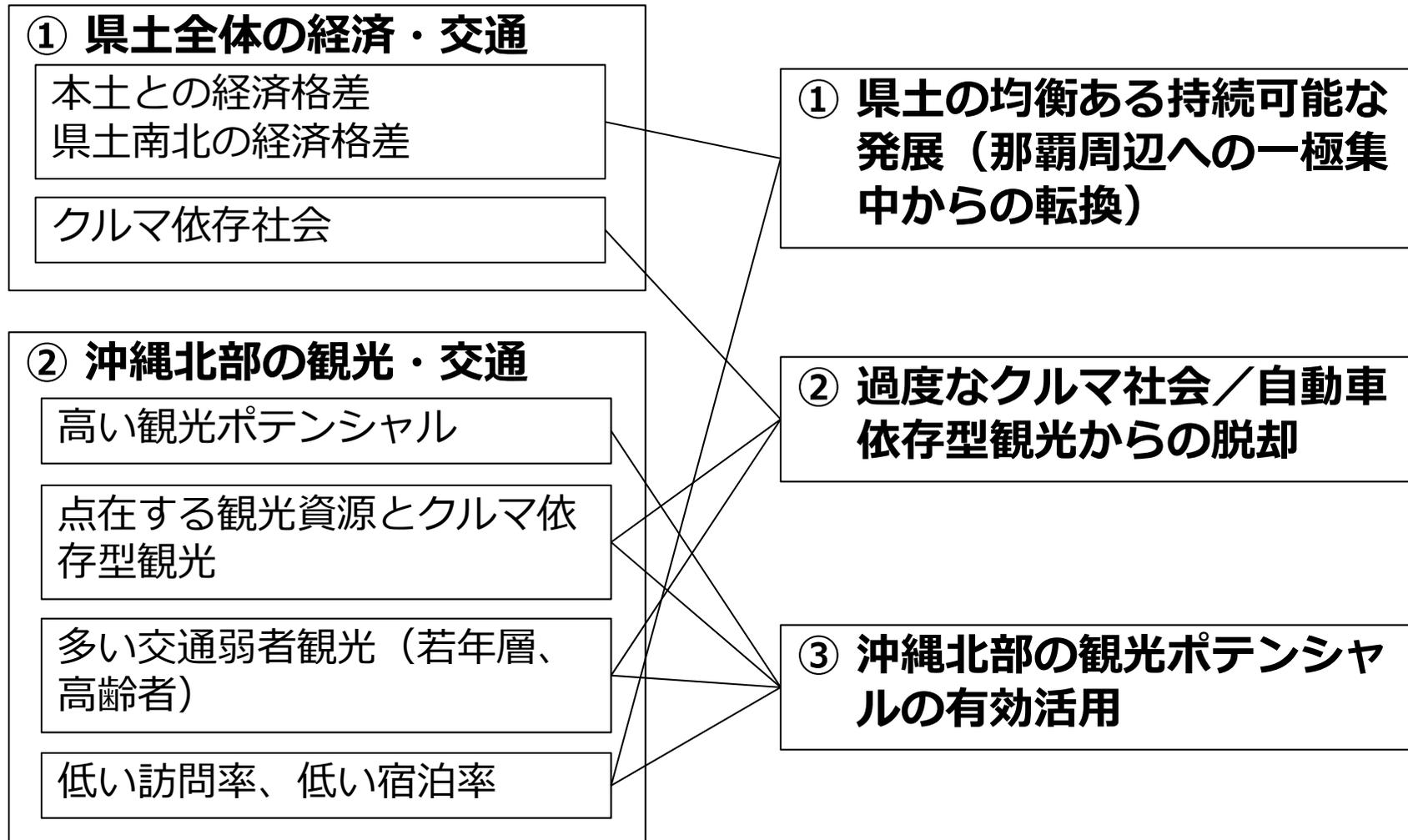
### 沖縄北部の主要渋滞箇所

出典: 令和2年度 第2回沖縄地方渋滞対策推進協議会資料

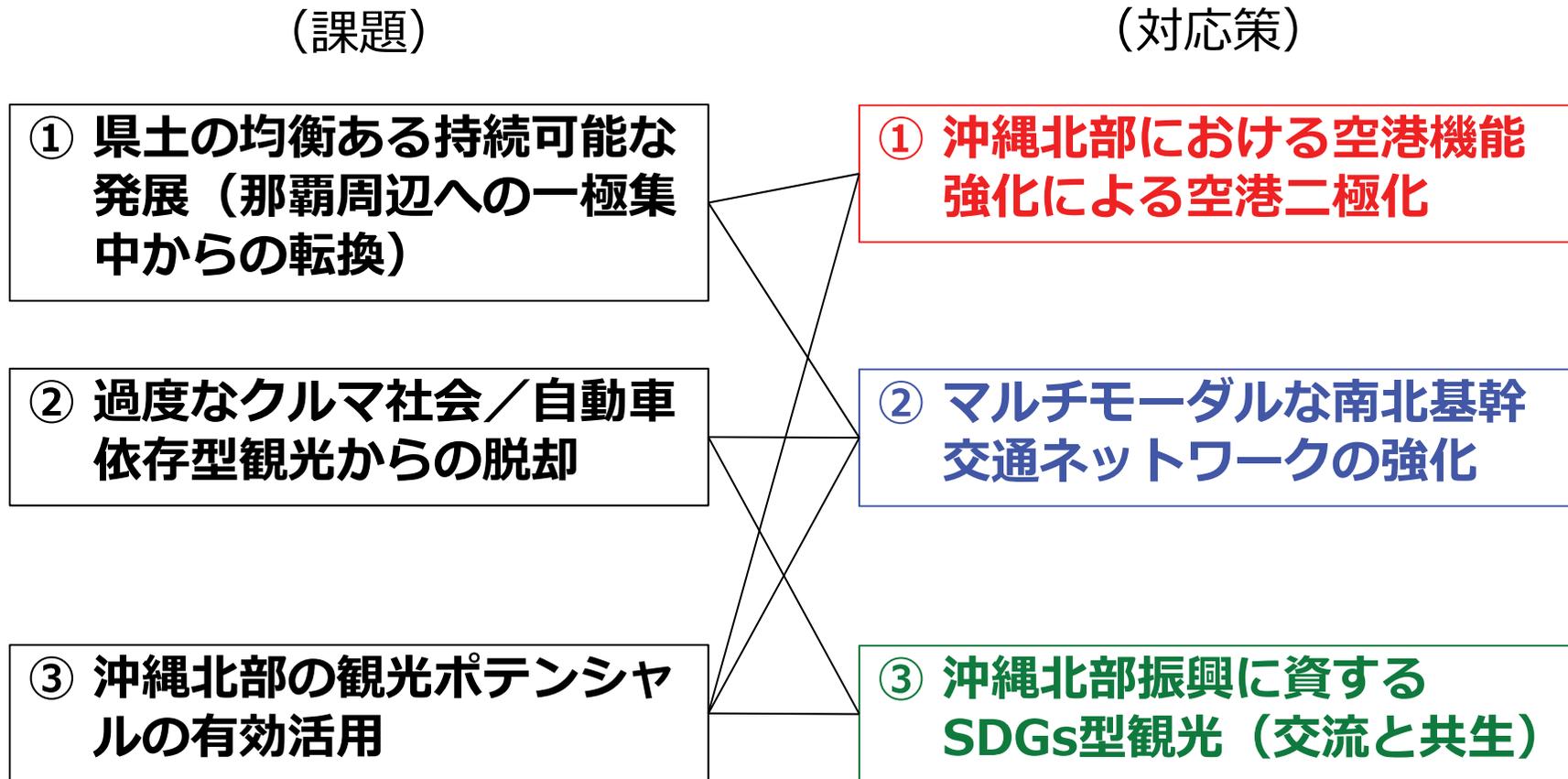
## 2. 沖縄北部振興の課題と対応策 (1) 課題

(現状・問題点)

(課題)



## 2. 沖縄北部振興の課題と対応策 (2) 対応策



## 2. 沖縄北部振興の課題と対応策 (2) 対応策

- ① 沖縄北部における空港機能強化による空港二極化
- ② マルチモーダルな南北基幹交通ネットワークの強化
- ③ 沖縄北部振興に資するSDGs型観光（交流と共生）



### 3. 観光振興型の地域空港整備事例（1）ハワイ・オアフ島

#### ①ダニエル・K・イノウエ国際空港（ホノルル国際空港）

- ・日本からの国際線が到着，州最大の空港
- ・滑走路6本（うち2本は海上）、ターミナル1，2，3

#### ②カラエロア空港（西部のカポレイ近くにある空港）

- ・以前は海軍航空基地として使用、1999年に地域空港に変更

#### ③ホノルル・レール・トランジット(32km、21駅、総工費約9,100億円)

- ・2022年に一部、2030年に全線が開業する予定



出典：<https://toyokeizai.net/articles/-/297959>に一部加筆



出典：<https://toyokeizai.net/articles/-/297959>

### 3. 観光振興型の地域空港整備事例 (2) マヨルカ

#### ①メノルカ空港 ⇔沖縄北部空港（伊江島空港）の参考事例

バルセロナやマドリードから航空機の直行便があるため、マヨルカ空港を経由せずメノルカ島に行くことができる。

- ・滑走路2本 (2,100m、2,550m) ⇔伊江島空港2,000m (計画)
- ・旅客数318万人 (2016年) ⇔伊江島空港300万人 (計画)

#### ②パルマ・デ・マヨルカ空港 ⇔那覇空港に類似した役割

スペインでは、3番目に旅客数の多い空港。夏のバカンスシーズンには、旅行者で空港はヨーロッパでも最も混雑する空港の一つ。

- ・滑走路2本 (3,200m、3,000m)
- ・旅客数2,283万人 (2008年) ⇔那覇空港2,176万人 (2019年)
- ・発着回数19.3万回 (2008年) ⇔那覇空港16.4万回 (2018年度)



## 4. 沖縄北部振興策の提案 (1) 施策メニュー

---

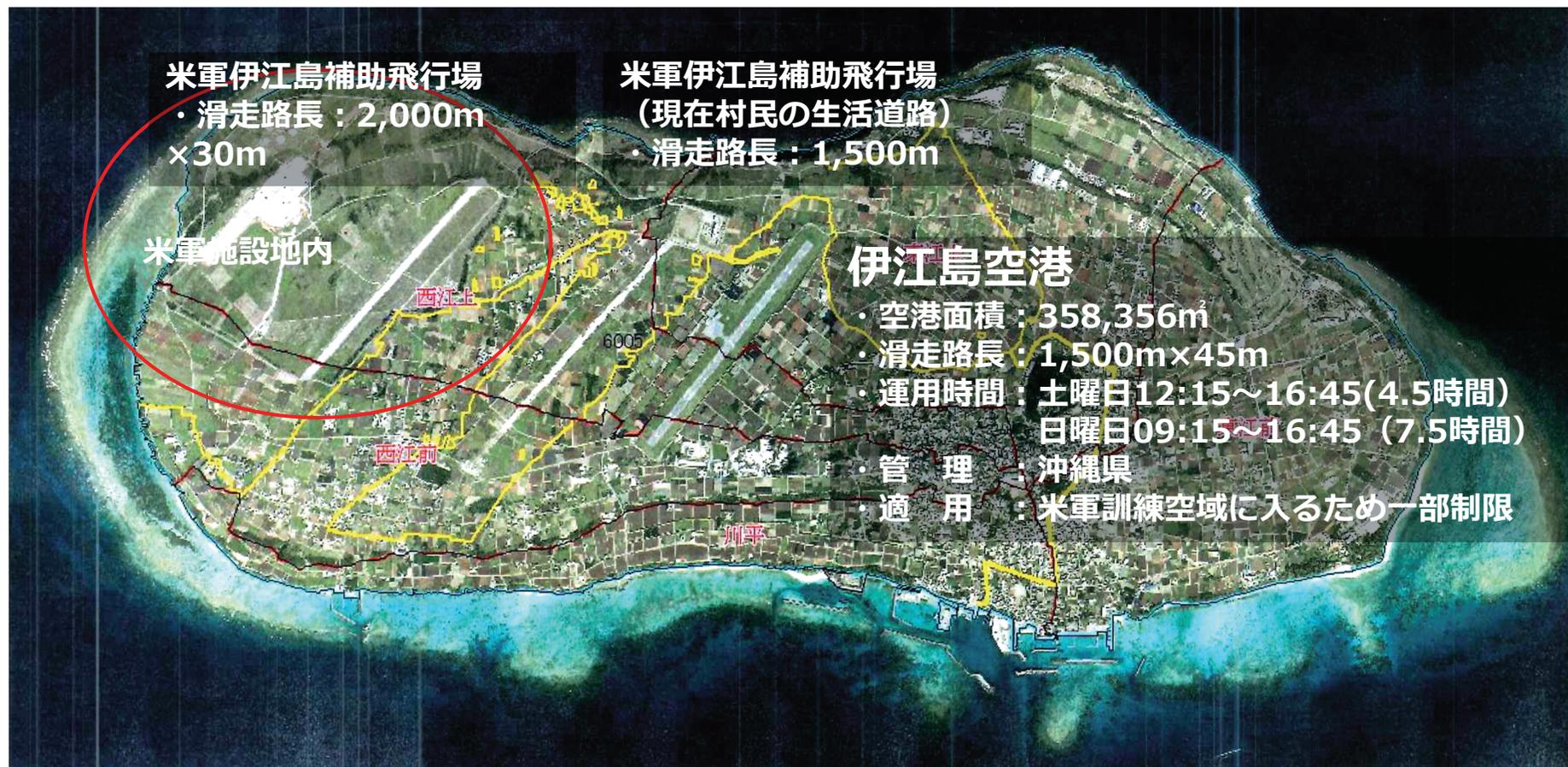
- ① **沖縄北部における空港機能強化による空港二極化**
  - ①－a：沖縄北部空港の整備（伊江島空港再整備）
  - ①－b：空港アクセス道路の整備（伊江島－本島連絡道）
- ② **マルチモーダルな南北基幹交通ネットワークの強化**
  - ②－a：沖縄自動車道の延伸（許田～美ら海）
  - ②－b：沖縄鉄軌道の整備（那覇－名護間）
- ③ **沖縄北部振興に資するSDGs型観光（交流と共生）**
  - ③－a：複合交通結節点の整備（美ら海、名護）
  - ③－b：沖縄北部地域MaaSの導入
  - ③－c：移住・二拠点居住、企業移転・ワーケーション

## 4. 沖縄北部振興策の提案 (2) 施策位置図



## 5. 事業イメージ (1) 沖縄北部空港の整備

- ・ 伊江島空港：沖縄県の管理空港
- ・ 沖縄国際海洋博覧会関連事業として供用開始（1975）
- ・ 定期便の運行を休止（1977.2）
- ・ 現在チャーター便のみ週末に受入れ、実際には利用されていない。



出典：令和2年度伊江村の概況

## 5. 事業イメージ (1) 沖縄北部空港の整備

### ① 伊江島空港の滑走路の延長

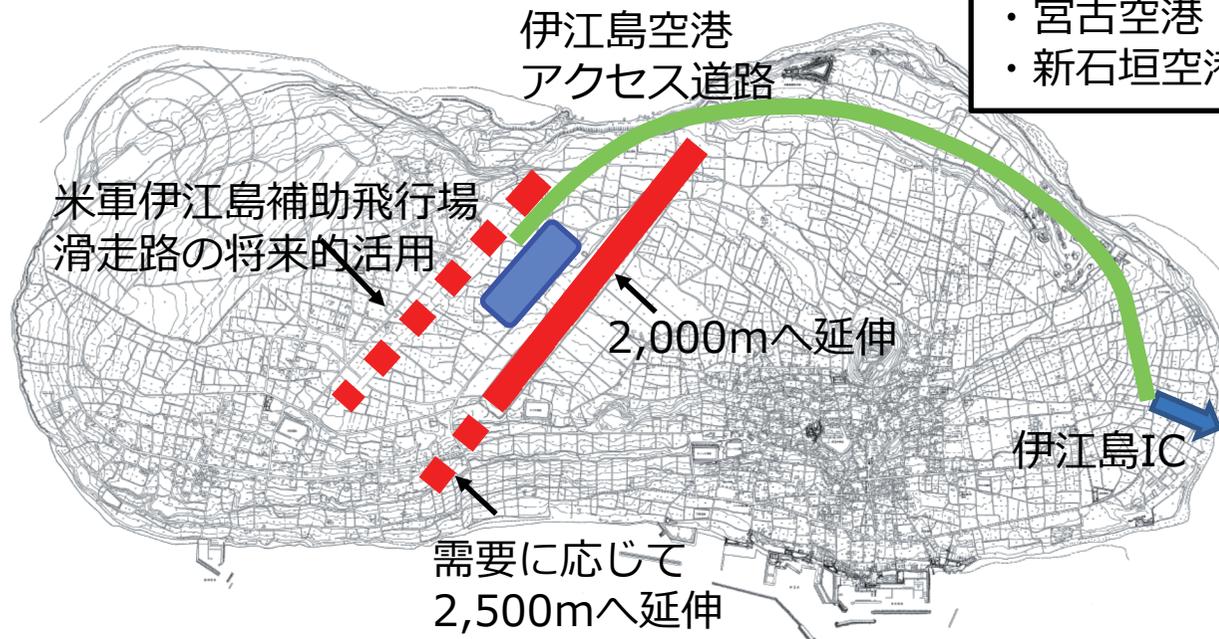
- ・ 1,500m⇒**2,000m** (300万人、近距離国際化対応)  
⇒需要に応じて**2,500m**へ延伸  
(米軍基地返還後、伊江島補助飛行場東側の活用)

### ② ターミナル整備

### ③ 那覇空港との経営統合による定期便の運営

参考：2,000m滑走路の旅客数（2019年）

- ・ 出雲空港 : 105万人
- ・ 宮古空港 : 180万人
- ・ 新石垣空港 : 261万人



## 5. 事業イメージ (1) 沖縄北部空港の整備

(参考) 滑走路長と空港利用者数 (2019年)

順位	空港名	国内線 (万人/年)	国際線 (万人/年)	合計 (万人/年)	滑走路 (m)	順位	空港名	国内線 (万人/年)	国際線 (万人/年)	合計 (万人/年)	滑走路 (m)					
1	東京国際空港 (羽田)	6,679	1,854	8,533	3000×60	11	熊本空港 (阿蘇くまもと)	332	17	350	3000×45					
					3360×60						2500×45					
					2500×60						12	宮崎空港 (宮崎ブーゲンビリア)	331	10	341	
					2500×60											
2	成田国際空港	764	3,482	4,246	4000×60 2500×60	13	神戸空港 (マリンエア)	336	0	336	2500×60					
3	関西国際空港	698	2,481	3,180	4000×60 3500×60	14	長崎空港	328	8	336	3000×60					
4	福岡空港	1,828	640	2,468	2800×60	15	松山空港	305	9	314	2500×45					
5	新千歳空港	2,073	387	2,460	3000×60	16	広島空港	280	33	314	3000×60					
					3000×60						17	石垣空港 (南ぬ島石垣)	251	10	261	2000×45
					3000×60											
					2700×60						18	高松空港	181	34	215	2500×45
6	那覇空港	1,808	368	2,176	3000×45	19	大分空港	188	11	198	3000×45					
7	大阪国際空港 (伊丹)	1,650	0	1,650	3000×60 1830×45	20	小松飛行場	165	23	189	2700×45					
8	中部国際空港 (セントレア)	668	678	1,346	3500×60	21	宮古空港	181	0	181	2000×45					
											22	函館空港	163	17	180	3000×45
9	鹿児島空港	566	41	607	3000×45	23	北九州空港	145	30	175	2500×60					
10	仙台空港 (仙台国際)	346	39	386	3000×45	24	高知空港 (高知龍馬)	165	0	166	2500×45					
					1200×45						25	岡山空港 (岡山桃太郎)	131	29	161	3000×45

出典: 国土交通省 東京航空局/大阪航空局 空港利用状況概況集計表に基づき作成

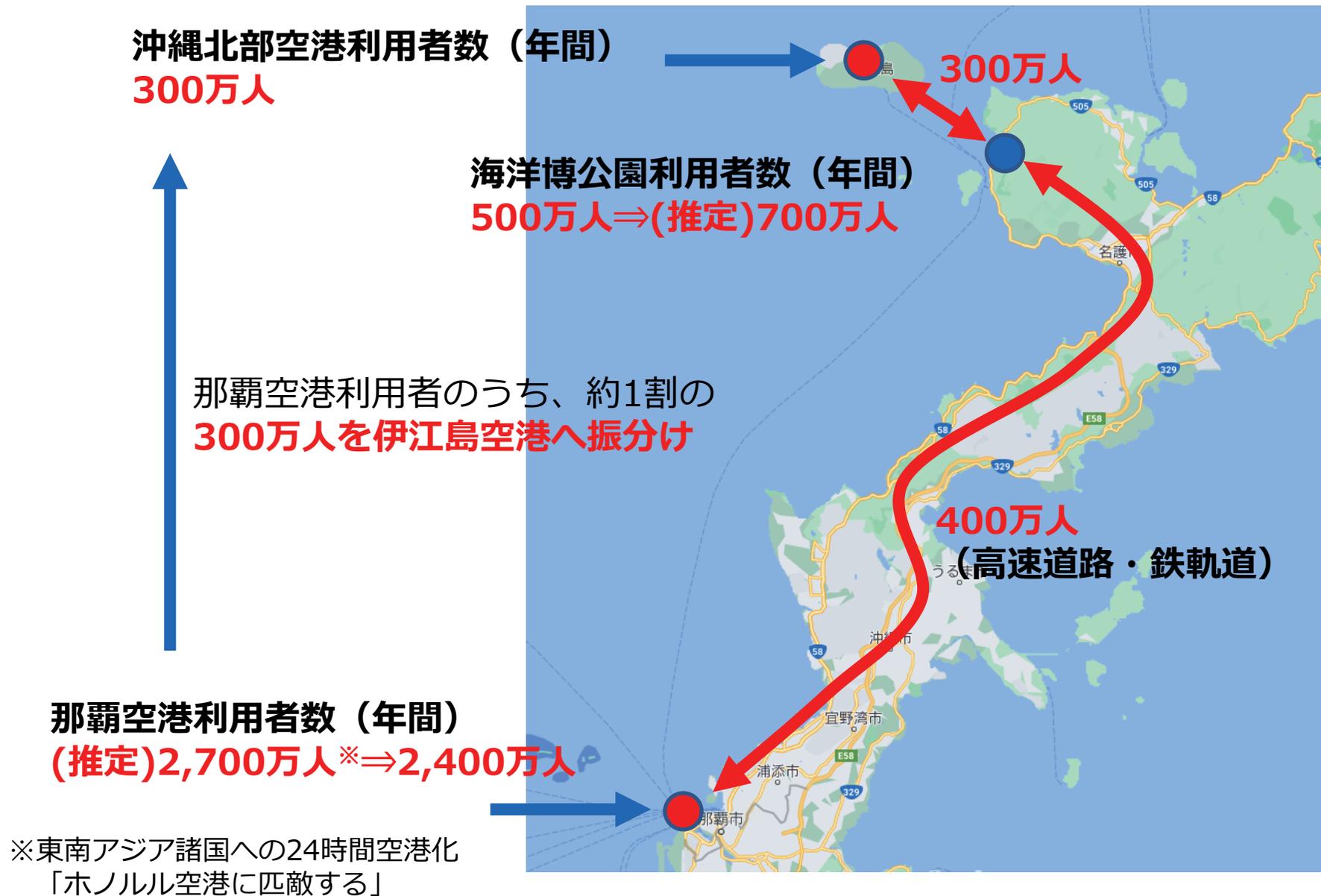
## 5. 事業イメージ (1) 沖縄北部空港の整備

空港名	伊江島 (現況)	伊江島 (本提案)	(旧)石垣	(新)石垣	(旧)那覇	(新)那覇
管理者	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	国土交通省	国土交通省
滑走路	1,500m 1本	<b>2,000m 1本</b> 需要に応じて 3,000mへ延伸	1,500m 1本	2,000m 1本	3,000m 1本	3,000m 1本 2,700m 1本
旅客数	1.5万人 (1996年)	<b>想定:300万人</b>	国内:167万人 国際: 1.2万人 合計:168万人 (2012年)	国内:248万人 国際: 9.4万人 合計:257万人 (2019年)	国内:1746万人 国際: 315万人 合計:2061万人 (2019年)	想定:2700万人
発着回数	72回 (2019年)		2.5万回		15.8万回	24万回

(備考) 那覇空港の将来旅客数の想定

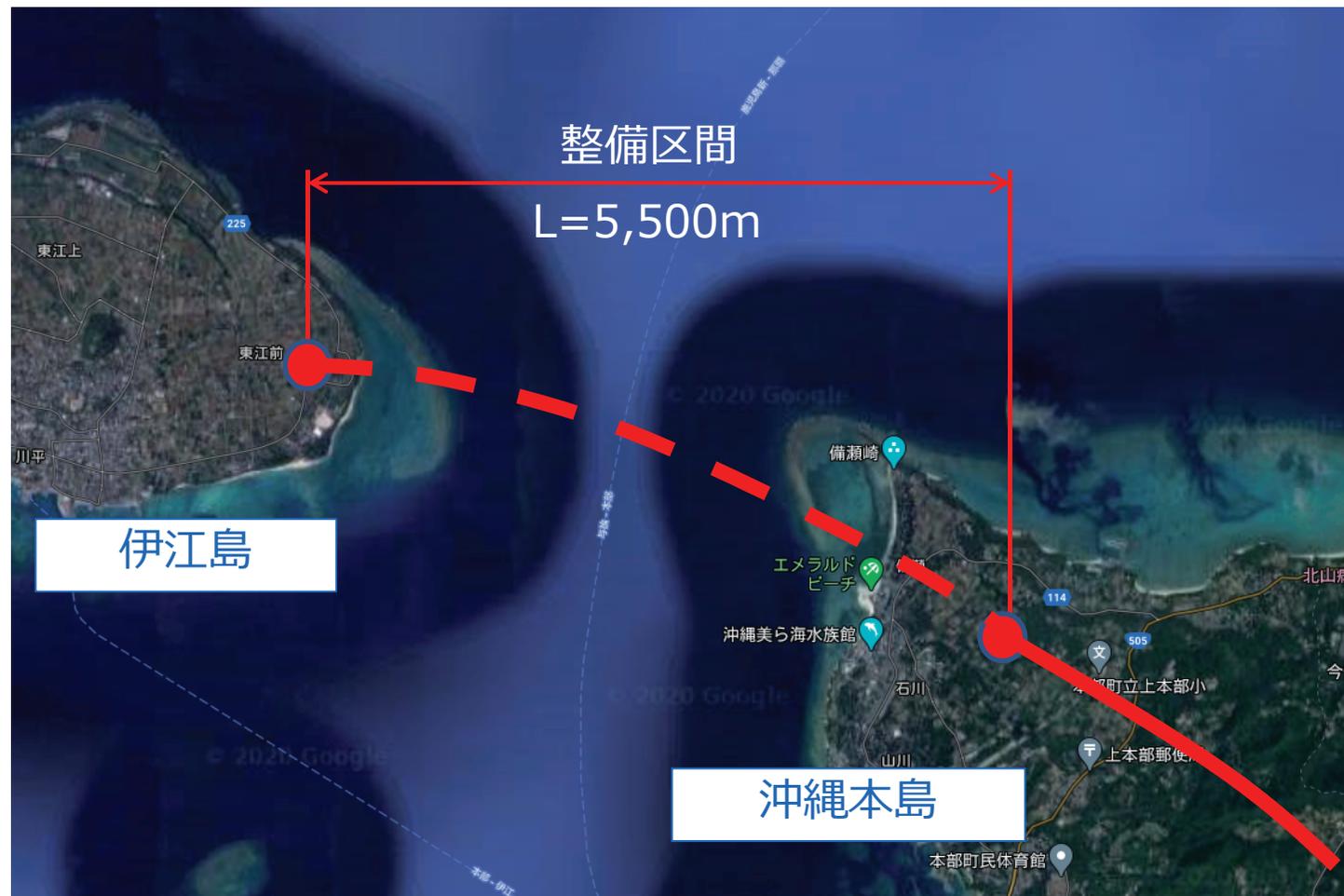
- ・「那覇空港構想段階PIのためのレポート（平成20年12月）における2007年から2030年の伸び率は、1.16～1.42倍（中間値：1.35倍）
- ・同程度の伸び率が続くと想定し、2019年度実績2,061万人×1.35倍（中間値）≒2,700万人

# 5. 事業イメージ (1) 沖縄北部空港の整備



## 5. 事業イメージ (2) 空港アクセス道路の整備

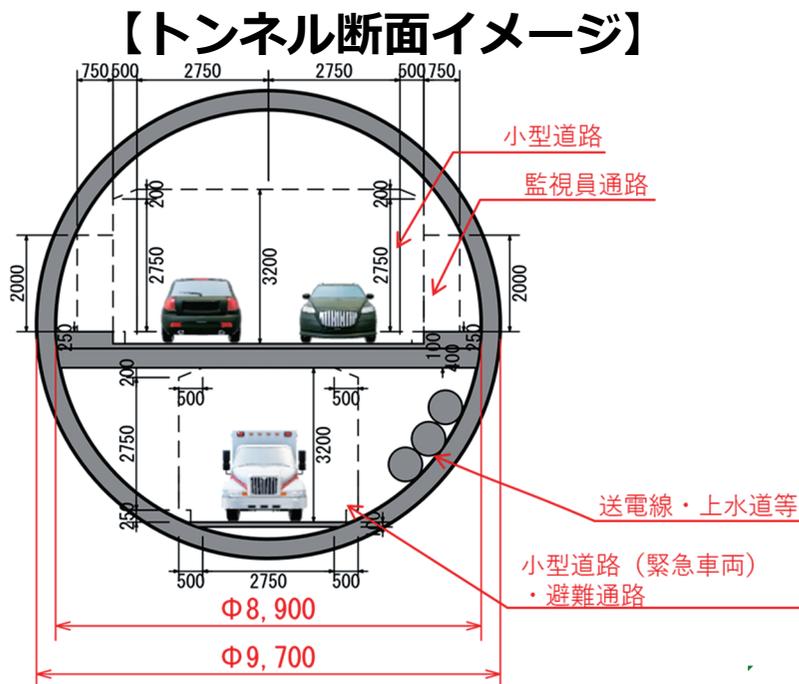
- ① 沖縄自動車道の北部延伸
- ② 国営記念公園・美ら海水族館へアクセス可能な I C 整備
- ③ 伊江島一本島間はトンネル又は橋梁で整備



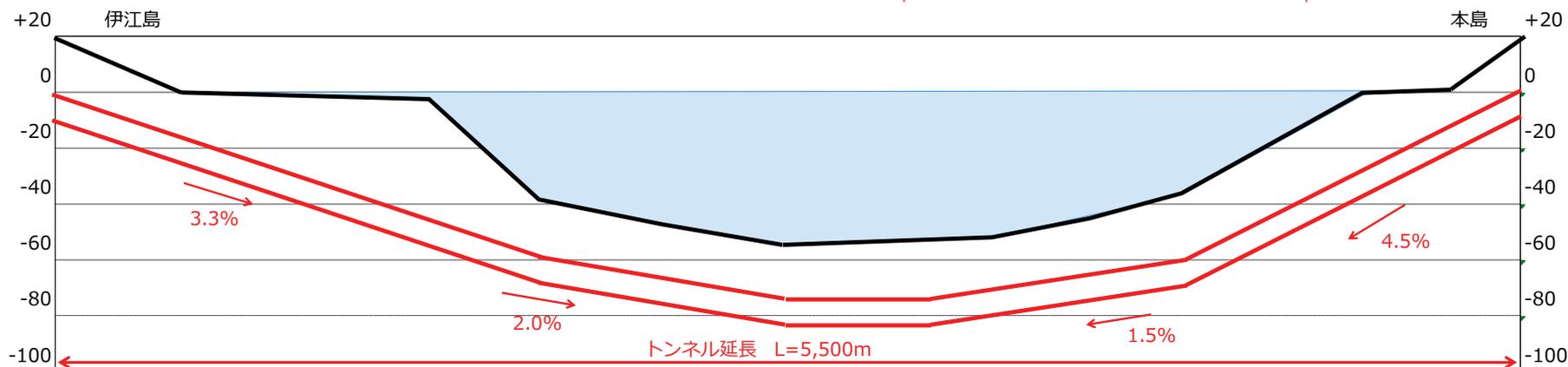
## 5. 事業イメージ (2) 空港アクセス道路の整備

### ① 海底トンネル (小型道路断面)

- ・ 第3種第2級道路 (小型道路) と想定
- ・ トンネル延長 L=5,500m
- ・ 海底地盤より土被り20m確保
- ・ 小型自動車 (緊急車両含む) のみ通行可
- ・ 物流は考慮しない ⇒ 必要最低限の断面
- ・ トンネル工法はNATMまたはTBM
- ・ 概算総事業費 : **約950億円**  
(650~1,250億円)



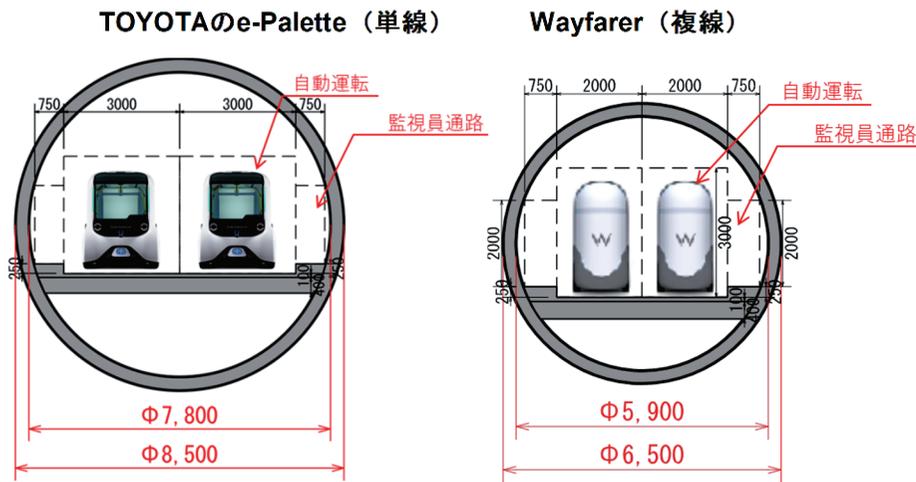
### 【トンネル縦断イメージ】



# 5. 事業イメージ (2) 空港アクセス道路の整備

## ② 海底トンネル (最小断面)

- ・ 専用ガイド付き自動運転EV / 新交通システム  
(鉄道と同様、緊急車両通行不要と想定)
- ・ 物流は考慮しない ⇒ 必要最低限の断面
- ・ トンネル工法はNATMまたはTBM
- ・ 概算総事業費：約450億円～750億円



幅員: 3.0m(車両幅2.1m)  
 建築限界: 3.0m  
 監視員通路: 0.75m  
 × 2.00m

◆ 概算工事費  
 500～950億円  
 平均750億円

幅員: 2.0m(車両幅1.0m)  
 建築限界: 3.0m  
 監視員通路: 0.75m  
 × 2.00m

◆ 概算工事費  
 300～550億円  
 平均450億円

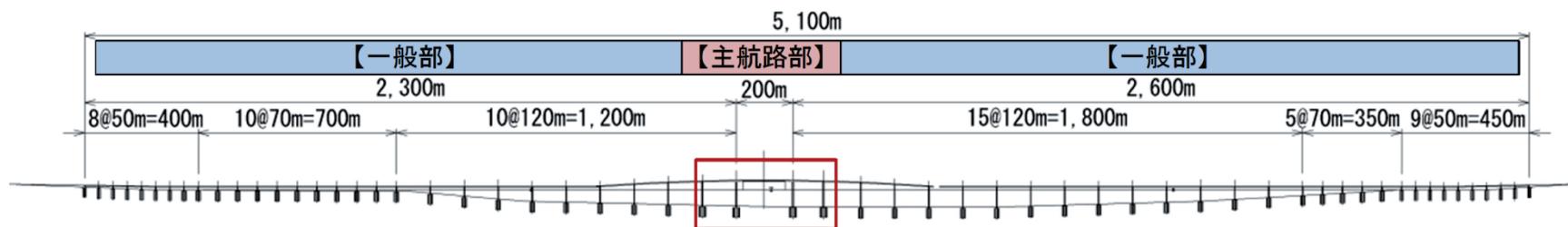
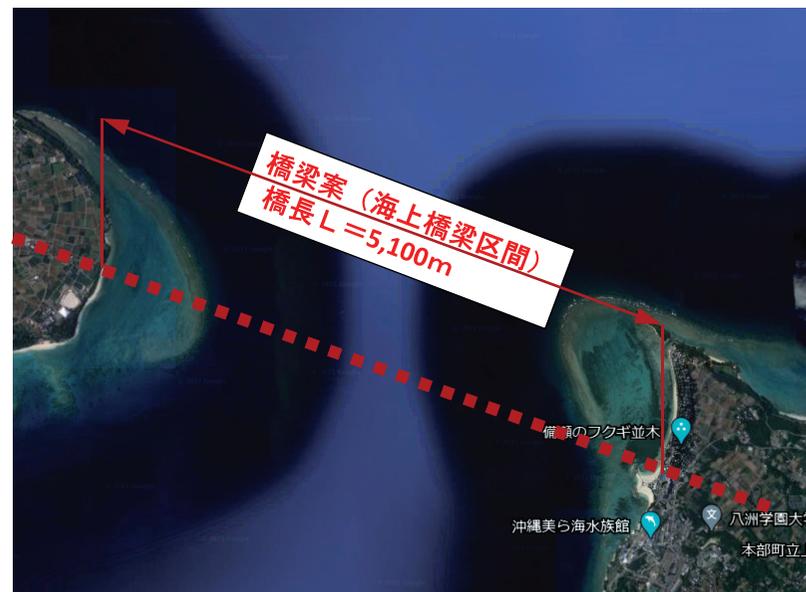
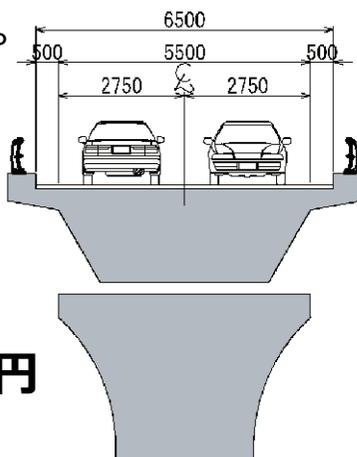


## 5. 事業イメージ (2) 空港アクセス道路の整備

### ③ 橋梁

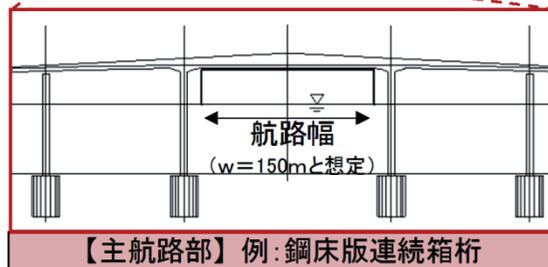
美ら海水族館から程近い国営沖縄記念公園のエメラルドビーチから眺める橋梁の景観美は観光資源の一つとなる。

- ・ 第3種第2級 小型道路
- ・ 一般車両（片側1車線）
- ・ 全長 L = 約5,100m
- ・ 概算総事業費：約700億円



#### [課題]

- ・ 塩害環境下での高耐久化
- ・ 耐風安定性の確保
- ・ 水深60m級の海中基礎の施工
- ・ 景観



主航路部は、縦断線形を上げ、支間長を広げることにより貨物船等の通航空間を確保

# [参考] 沖縄の海上橋梁（1）

伊良部大橋は、離島を結ぶ日本最長の無料橋

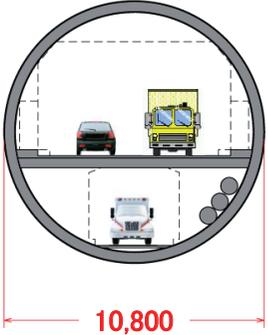
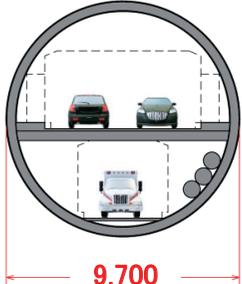
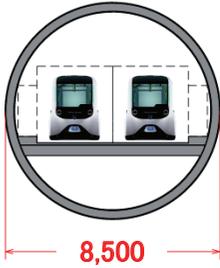
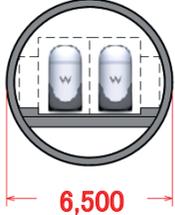
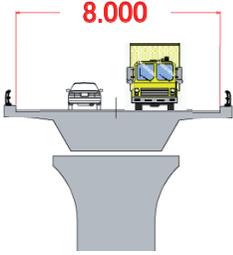
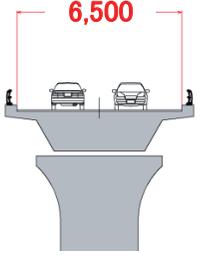


# [参考] 沖縄の海上橋梁 (2)



# 5. 事業イメージ (2) 空港アクセス道路の整備

## ④ 代替案の比較

	トンネル				橋梁	
	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン1	パターン2
断面図						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>上層：普通道路2車線（建築限界4.5m、普通自動車）</li> <li>下層：小型道路（小型緊急車両）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上層：小型道路2車線（建築限界3.0m、小型自動車）</li> <li>下層：小型道路（小型緊急車両）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転車両専用道路複線</li> <li>開発済車両（e-Pallet）</li> <li>緊急車両の通行は不要（鉄道と同様）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転車両専用道路複線</li> <li>開発予定車両（Wayfarer）</li> <li>緊急車両の通行は不要（鉄道と同様）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通道路2車線（普通自動車）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型道路2車線（小型自動車）</li> </ul>
工事費概算	約1,200億円	約950億円	約750億円	約450億円	約800億円	約700億円

## 5. 事業イメージ (3) 沖縄自動車道の延伸

- ①北部、本部地区へ**沖縄自動車道の延伸**
- ②那覇空港－沖縄北部空港の**ネットワーク化**



名護東道路の延伸構想のイメージ

北部テーマパーク建設予定地

伊差川

名護東道路 開通済みの4.2km

世富慶道の駅

許田IC

2021年夏までに開通する2.6km

延伸構想

美ら海水族館

出典：琉球新報(2020年9月28日)

## 5. 事業イメージ (4) 沖縄鉄軌道の整備

- ① 県土の均衡ある発展（南北格差の解消）
- ② 県民、観光客の移動利便性の向上
- ③ 道路交通渋滞の緩和、低炭素型交通への転換

⇒カーボンニュートラル

<ルート案>

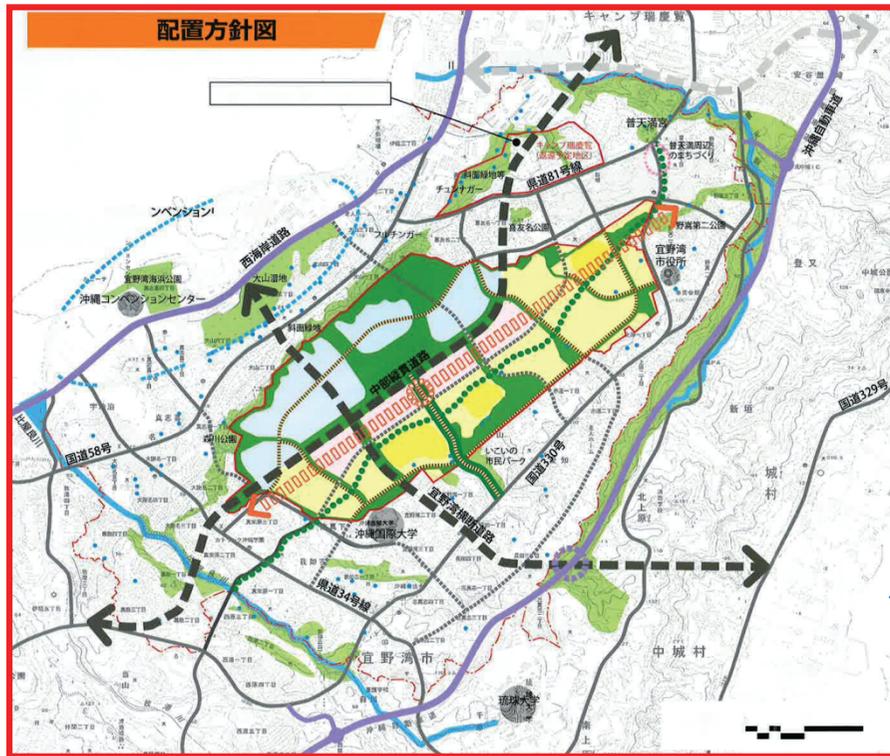


路線延長：約70km  
総事業費：  
5,900億円～6,500億円  
(沖縄県試算)

出典：平成24年度「鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入促進検討業務」報告書

# 5. 事業イメージ (4) 沖縄鉄軌道の整備

## ④ 基地返還等と連携したルート設定および沿線開発



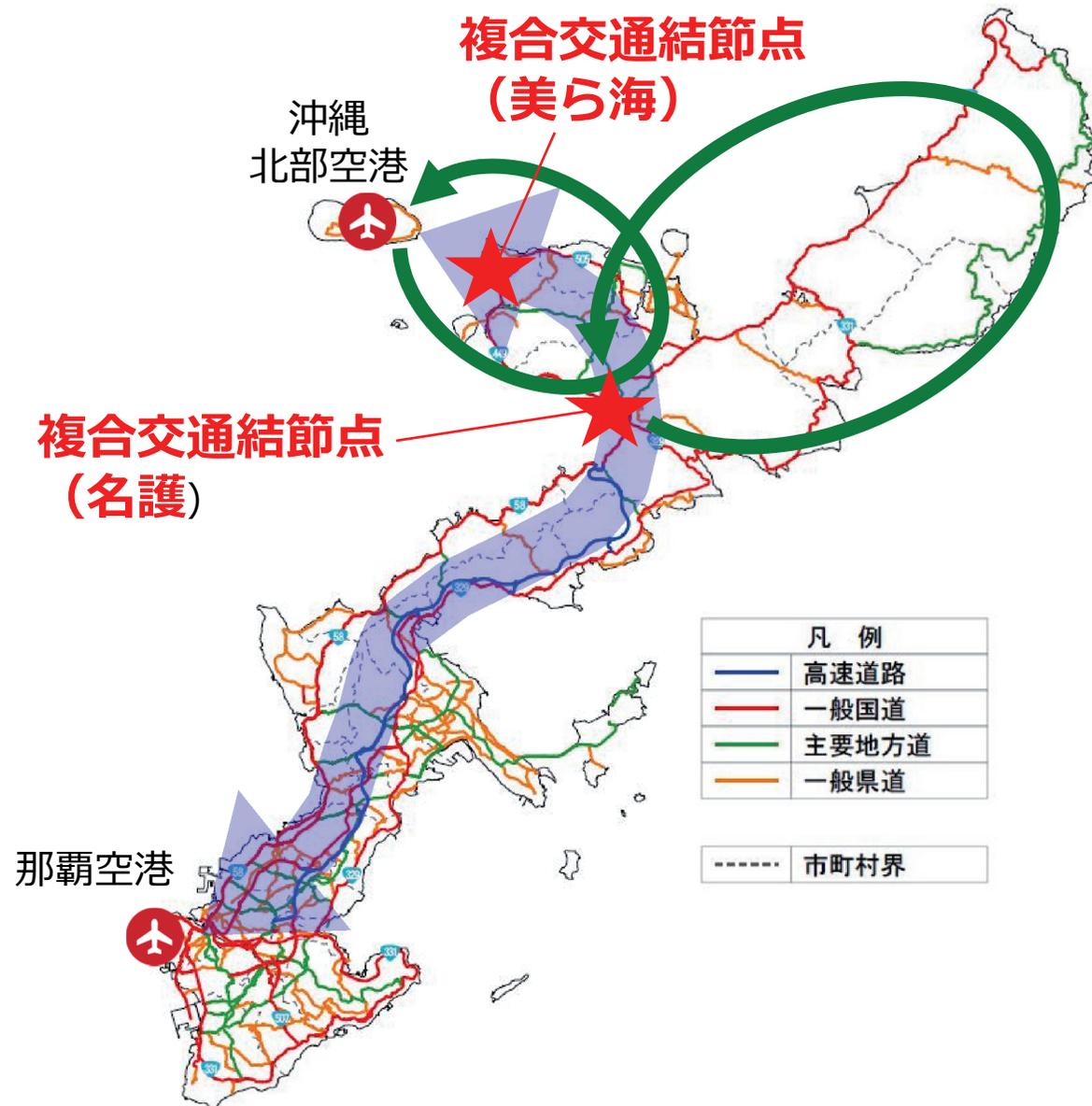
出典：普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」

### 普天間飛行場の跡地計画 (中央部の赤点線が鉄軌道計画)



### 米軍基地と鉄軌道ルート (案)

## 5. 事業イメージ (5) 複合交通結節点の整備



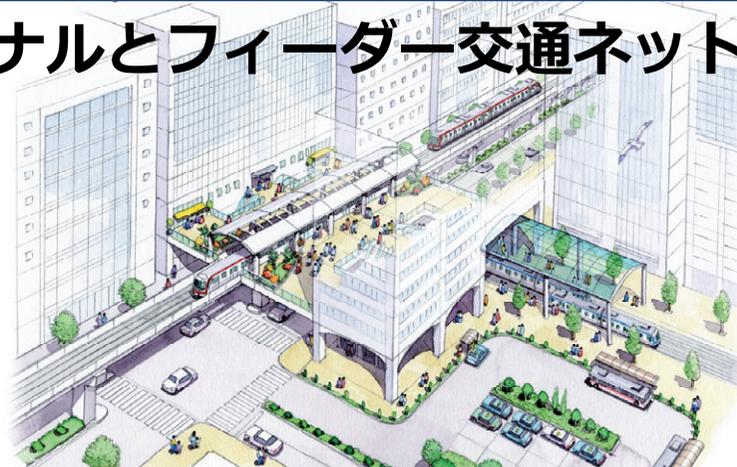
# 5. 事業イメージ (5) 複合交通結節点の整備

## ① 美ら海バスターミナル

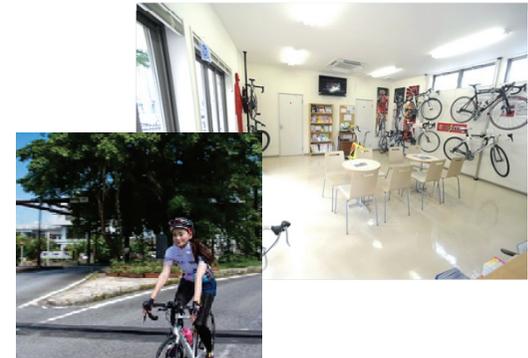


# 5. 事業イメージ (5) 複合交通結節点の整備

## ② 名護ターミナルとフィーダー交通ネットワーク



出典: 平成24年度「鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入促進検討業務」報告書



## 5. 事業イメージ (5) 複合交通結節点の整備

### ② 名護ターミナルとフィーダー交通ネットワーク

- ・ 鉄軌道システムに接続する**低炭素型フィーダー交通**
  - ・ グリーンスローモビリティ (デマンド型EV)
  - ・ 小型モビリティのシェアリング、レンタカー



低炭素型交通  
(カーボンニュートラル)



## 5. 事業イメージ (6) 沖縄北部地域MaaSの導入

### 観光サービス



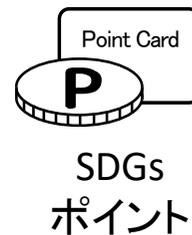
### モビリティサービス



### 生活サービス



### 沖縄北部地域MaaSプラットフォーム



# 5. 事業イメージ (7) 移住・二拠点居住、企業移転・ワーケーション

## ① ビヨンドコロナ時代のライフスタイルに対する価値創造 ・移住・二拠点居住、企業移転・ワーケーション



### 【北部エリア】ネイチャーリフレッシュ型

恩納村や亜熱帯のジャングルやマングローブ林などの大自然と希少な生物の宝庫のやんばる国立公園、長寿文化など、自然の豊かさが溢れるエリア。

那覇空港より沖縄自動車道で約1時間-2時間30分前後  
※所要時間は恩納村役所、辺戸岬で算出

ウェルネスコンテンツ例	チームビルディングコンテンツ例	ワーケーション関連施設
<p>自然・文化体験</p> <div data-bbox="293 691 512 831"></div> <p>森林浴／瞑想</p> <div data-bbox="566 691 786 831"></div> <p>サイクリング</p> <div data-bbox="293 919 512 1059"></div> <p>森&amp;湖畔ノルディックウォーキング&amp;ヨガ</p> <div data-bbox="566 919 786 1059"></div> <p>ビーチヨガ SUPヨガ</p>	<p>自然・文化体験</p> <div data-bbox="875 691 1095 831"></div> <p>やんばるトレッキング</p> <div data-bbox="1149 691 1368 831"></div> <p>ジップライン</p> <p>食体験</p> <div data-bbox="875 919 1095 1059"></div> <p>慶佐次川マングローブカヌー</p> <div data-bbox="1149 919 1368 1059"></div> <p>やんばるピクニック</p>	<p>ワーケーション関連施設</p> <p>コワーキングスペース例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HENTONA LOUNGE</li> <li>・ SEASIDE OFFICE</li> <li>・ コワーキングラウンジ「ハナウール」</li> <li>・ カヌチャ</li> <li>・ リアンリゾートオフィス</li> </ul> <p>SEASIDE OFFICE</p> <p>ホテル例 ※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホテルモントレ沖縄スパ&amp;リゾート</li> <li>・ ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄</li> <li>・ ベストウェスタン</li> <li>・ かねひで喜瀬ビーチパレス</li> <li>・ リザンシーパークホテル谷茶ベイ</li> <li>・ ホテルゆがふいんおきなわ</li> <li>・ ザ・ブセナテラス</li> <li>・ ジ・アッタテラスクラブタワーズ</li> </ul> <div data-bbox="1440 1289 1608 1401"></div> <p>ANAインターコンチネンタル万盛ビーチリゾート</p> <div data-bbox="1619 1289 1787 1401"></div> <p>ザ・ブセナテラス</p> <div data-bbox="1798 1289 1966 1401"></div> <p>カムチャベイホテル&amp;ヴィラス</p>
<p>食体験</p> <p>とれたて島野菜&amp;フルーツ体験 (収穫体験/直売所/農園カフェなど)</p> <div data-bbox="566 1219 786 1359"></div>	<p>親子向けコンテンツ例</p> <div data-bbox="875 1219 1095 1359"></div> <p>ヤンバルクイナ観察ツアー</p> <div data-bbox="1149 1219 1368 1359"></div> <p>サンゴ再生コース</p>	

出典：沖縄ワーケーション(2021年3月沖縄県)

# 5. 事業イメージ

## (7) 移住・二拠点居住、企業移転・ワーケーション

### ② 夕日とロマンのフラワーアイランド (伊江島観光振興基本計画)

- ・観光客を対象とした宿泊・リゾート施設
- ・ワーケーション、二拠点居住等

平成 37(2025)年度  
伊江村の旅行者数の目標  
**年間 18 万人**  
(現状：年間約 13 万人)

**理念 1**  
旅を通じて人生を豊かにする  
学び・成長のきっかけを提供します

食や自然、文化、スポーツ等、伊江島ならではの魅力を学びと成長に活かします。

**理念 2**  
時を越えて受け継がれてきた暮らしの魅力をお伝えします

私たちが時を越えて受け継いできた独特の文化を旅の魅力として活かします。

**理念 3**  
五感に染み渡る体験を提供します

城山の眺め、波の音、ユリの香り、さわやかな風、伊江島牛の濃厚な旨み等、五感に染み渡る伊江島の魅力を活かします。

**理念 4**  
写真だけでは伝わらない温かな記憶のお土産を提供します

自分たちの「家」である「伊江」島にお招きするもう一人の家族のように旅行者をお迎えします。

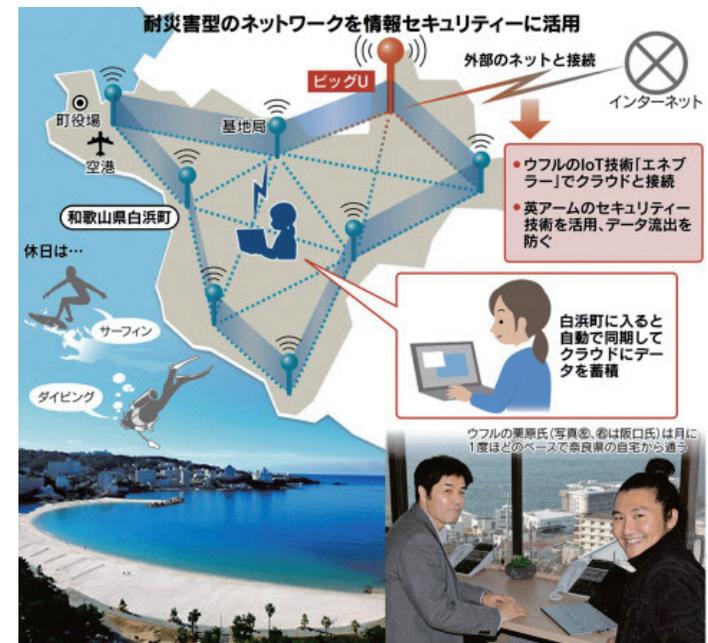
**理念 5**  
日常を離れて心がゆるむ、くつろぎの時間を提供します

自然と寄り添う島暮らしに触れ、ゆったりとした島のリズムを楽しむ、くつろぎの時間を提供します。

出典：伊江村観光振興基本計画

### ワーケーション事例 (白浜)

- ・南紀白浜空港が近接



出典：日本経済新聞

## 6. 事業推進方策 (1) 事業スキーム

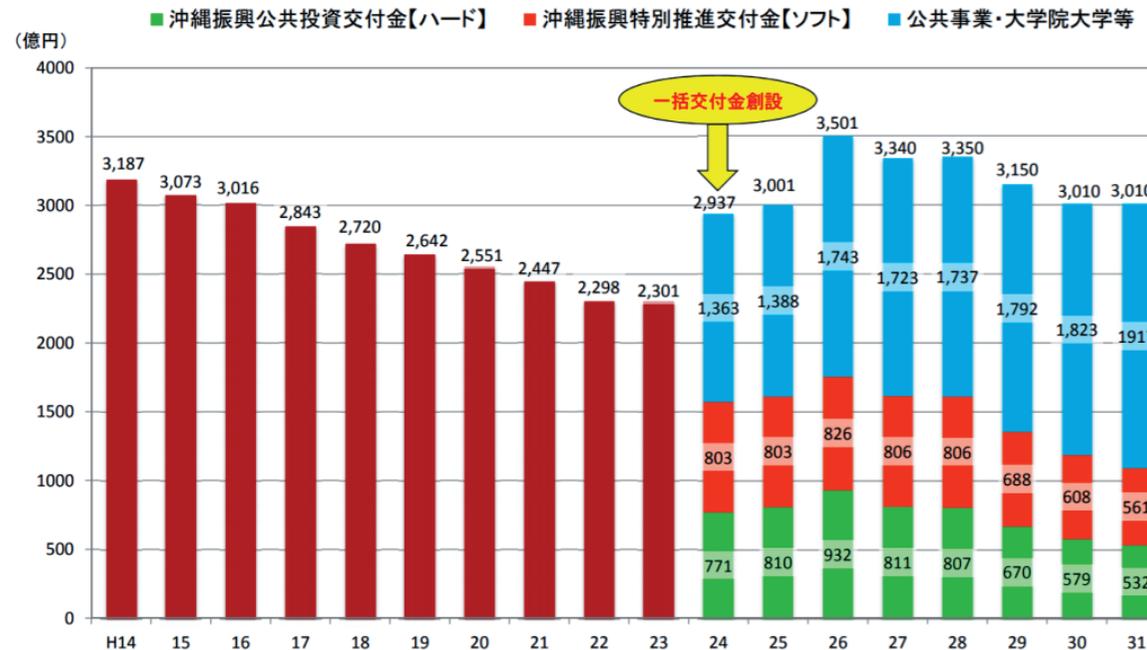
### ① 沖縄独自の整備財源の活用

- ・ 沖縄振興予算（約3,000億円/年）
- ・ 米軍関係の国の交付金・補助金

### ② SDGs型の公設民営・エリアマネジメント

- ・ 鉄軌道、フィーダー交通、交通結節点は公設民営
- ・ SDGs型観光税（仮称）による観光エリアマネジメント

#### 沖縄振興予算（内閣府計上分）の推移



出典：沖縄振興審議会総合部会専門委員会資料

## 6. 事業推進方策 (2) 段階的整備・運用

### ① 第1段階

- ・ 沖縄北部空港の整備  
(伊江島空港再整備)
- ・ 空港アクセス道路の整備  
(伊江島－本島間連絡道)
- ・ 沖縄自動車道の延伸  
(許田～美ら海)
- ・ 複合交通結節点の整備 (美ら海)



### ② 第2段階

- ・ 沖縄鉄軌道の整備  
(那覇－名護間)
- ・ 複合交通結節点の整備 (名護)
- ・ 沖縄北部地域MaaSの導入
- ・ 移住・二拠点居住、企業移転・ワーケーション



# 7. プロジェクトの効果

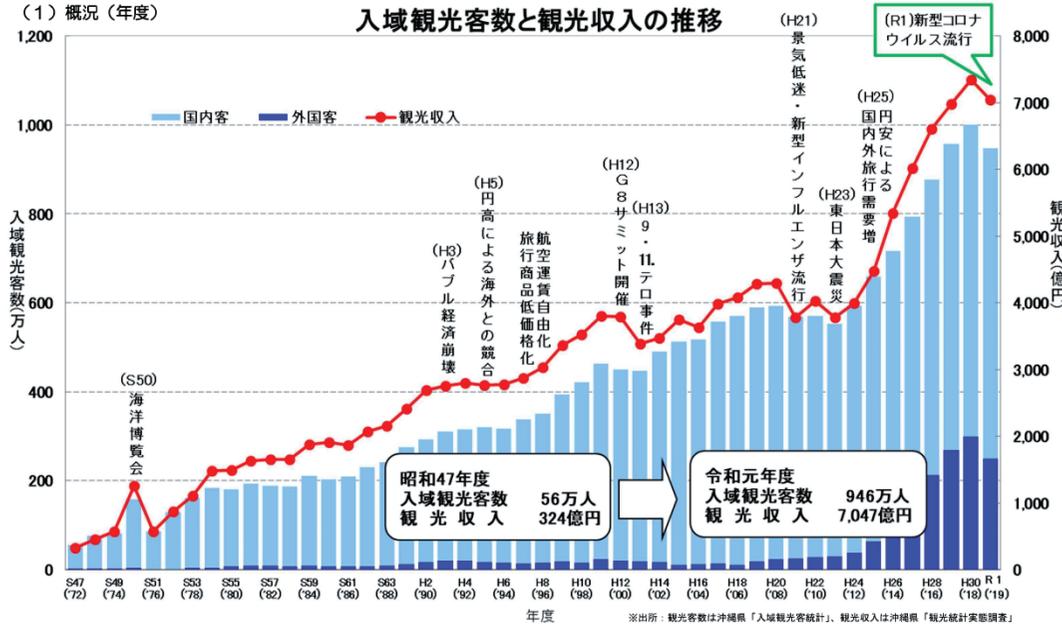
## (1) 沖縄北部地域への経済波及効果：約3,000億円/年

- ・ 沖縄北部空港利用者：300万人/年
- ・ 一人当たりの観光消費額は約7万4千円 ⇒2,220億円/年
- ・ 経済波及効果は観光消費額の約1.5倍 ⇒3,330億円/年

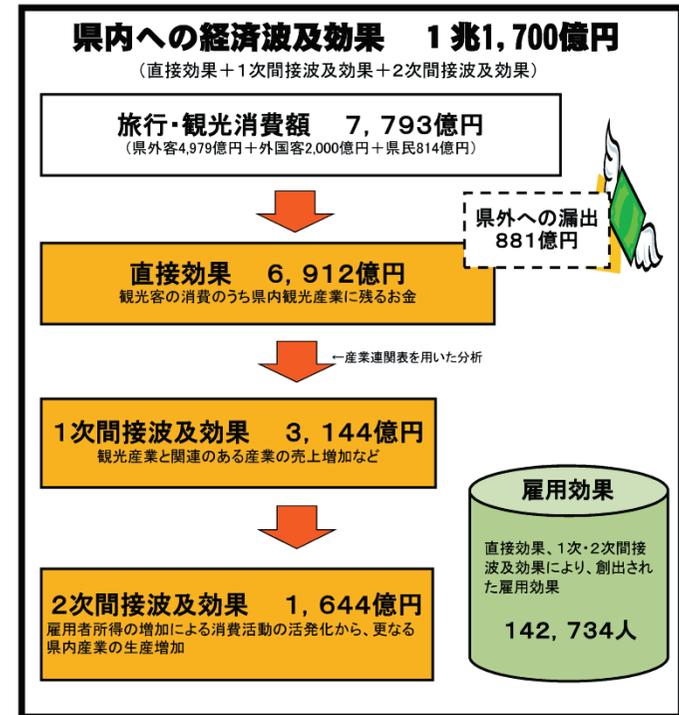
入域観光客数：946万人、観光収入：7,047億円  
⇒ 一人当たり観光消費額：約7万4千円

旅行・観光消費額：7,793億円  
経済波及効果：1兆1,700億円 ⇒約1.5倍

1 沖縄観光の推移  
(1) 概況 (年度)



出典：令和元年版観光要覧(沖縄県)



出典：平成29年度沖縄県における旅行・観光の経済波及効果(沖縄県)

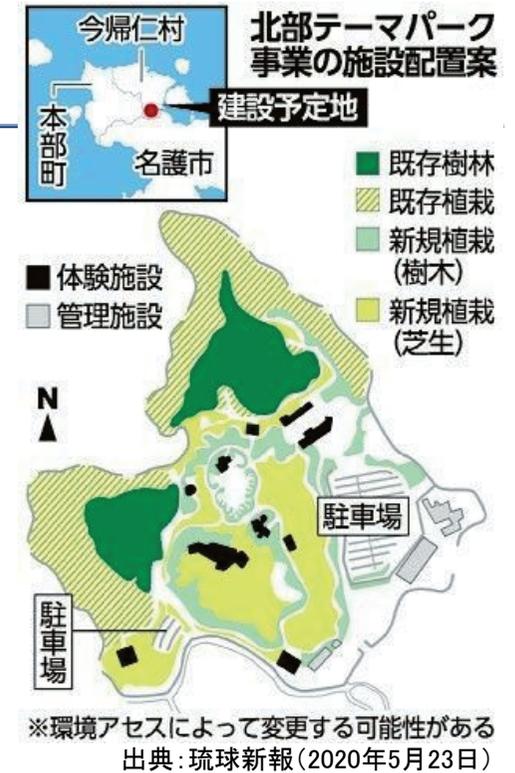
# 7. プロジェクトの効果

## (2) 空港リダンダンシー効果

- ・ 那覇空港の津波水害リスクに対する代替機能

## (3) 各種プロジェクト等との連携効果

- ・ 沖縄北部テーマパーク事業
- ・ 沖縄鉄軌道の沿線開発（基地関連含む）



津波ハザードマップ(左:那覇空港周辺、右:伊江島)



出典: <https://www.hazard-maps.com/>





## 【沖縄本島ツインゲートウェイ構想】 検討者名簿

※敬称略

### チームリーダー

五味 宗雄 ((株) 安藤・間 取締役副社長)

### メンバー

(50音順)

雨宮 克也 (三井不動産(株) 開発企画部環境創造グループグループ長)

荒井 清 (東亜建設工業(株) 土木事業本部プロジェクト部長)

有田 淳 (前田建設工業(株) 土木事業本部営業第1部副部長)

清原 亮 ((株) 安藤・間 営業本部営業第一部営業グループ課長)

小坂 彰洋 (東京地下鉄(株) 常務取締役)

塩崎 正孝 ((株) IHI 顧問)

白水 靖郎 (中央復建コンサルタンツ(株) 常務取締役経営企画本部長)

永重 雅守 (前田建設工業(株) 常務執行役員土木事業本部副本部長)

丸岡 裕人 (日鉄防食(株) 取締役 企画管理部長 安全環境・品質総括部長)

水口 倫太郎 (あおみ建設(株) 経営企画室長)

三輪 恭之 (森ビル都市企画(株) 事業企画部部長補佐)

渡邊 恵一 (東亜建設工業(株) 土木事業本部プロジェクト部担当部長)

～ JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 委員名簿 (敬称略) ～

	氏名	団体名	役職
最高顧問	中村 英夫	(一社)日本プロジェクト産業協議会	副会長/東京都市大学 名誉総長
委員長	藤本 貴也	パシフィックコンサルタンツ(株)	特別顧問
委員	阿部 義典	国際航業(株)	インフラマネジメント事業部 道路計画担当部長
	雨宮 克也	三井不動産(株)	開発企画部 環境創造グループグループ長
	荒井 清	東亜建設工業(株)	土木事業本部 プロジェクト部長
	荒木 千博	(株)建設技術研究所	東京本社 河川部長
	有田 淳	前田建設工業(株)	土木事業本部 営業第1部副部長
	安齊 孝仁	(一社)日本プロジェクト産業協議会	顧問
	安藤 聡穂	(株)IHI	社会基盤・海洋事業領域グローバルビジネス推進部 部長
	飯尾 昌和	(株)日本港湾コンサルタント	計画本部 専任部長
	石坂 久志	(株)復建エンジニアリング	事業本部 副本部長
	石崎 晶子	パシフィックコンサルタンツ(株)	経営戦略室 チーフプロジェクトマネージャー
	石田 有三	大成建設(株)	土木営業本部 開発営業部 営業担当部長
	石村 佳之	(株)オリエンタルコンサルタンツ	関東支社 道路部長
	一色 真人	西松建設(株)	代表取締役 執行役員 副社長
	乾 靖	(株)竹中工務店	まちづくり戦略室 専門役
	今井 敬一	(株)建設技術研究所	国土文化研究所 次長
	今井 稔	(一社)建設コンサルタンツ協会	インフラストラクチャー研究所 研究部長
	岩野 政浩	大成建設(株)	理事 土木本部 土木企画部長
	上西 泰輔	(株)大林組	東京本店 土木事業部 営業部長
	太田 昌彦	日本製鉄(株)	プロジェクト開発部長
	大野 昌幸	清水建設(株)	営業総本部 土木営業本部 営業部 部長
	大村 哲夫	(株)日本港湾コンサルタント	取締役会長
	岡本 俊彦	大成建設(株)	土木本部 土木企画部 戦略計画室 部長代理
	岡山 誠	鹿島建設(株)	土木管理本部 土木工務部 ダムグループ担当部長
	越智 修	五洋建設(株)	専務執行役員 土木部門担当
	越智 繁雄	大成建設(株)	執行役員
	小野 哲男	(株)熊谷組	執行役員 土木事業本部 副本部長
	加藤 孝明	東京大学	生産研究所 教授/社会科学研究所 特任教授
	門脇 直哉	日鉄物産(株)	プロジェクト開発部長
	神尾 哲也	戸田建設(株)	常務執行役員 土木営業統轄部長
	河合 康之	(株)三菱地所設計	エグゼクティブアドバイザー
	川口 英俊	東京都市大学	都市生活学部 教授
	川嶋 憲	(株)日本港湾コンサルタント	執行役員
	菅藤 学	(株)ドーコン	東日本事業本部 東京支店 事業部長
	菊地 史春	日鉄興和不動産(株)	企業不動産開発本部 九州支店長
	清原 亮	(株)安藤・間	営業本部 営業第一部 営業グループ課長
	栗栖 寛	(株)浅沼組	土木事業本部 技術設計第2グループ グループリーダー
黒川 純一良	(公社)日本河川協会	専務理事	
桑原 茂雄	(株)浅沼組	執行役員 戦略事業推進部 部長	
小坂 彰洋	東京地下鉄(株)	常務取締役	
五味 宗雄	(株)安藤・間	取締役副社長	
今野 水己	(株)三菱総合研究所	西日本営業本部 特命リーダー	
斉藤 親	(一社)日本プロジェクト産業協議会	顧問	
酒井 哲夫	(株)ドーコン	東日本事業本部 次長	
佐々木 雅幸	東急建設(株)	常務執行役員 土木事業本部 副本部長	
佐野 忍	鹿島建設(株)	土木管理本部 プロジェクト推進部 プロジェクト推進部長	
塩崎 正孝	(株)IHI	顧問	
清水 英範	(公社)日本測量協会	会長	
清水 雄	(株)オオバ	常務取締役 執行役員 営業本部長	
下長 右二	パシフィックコンサルタンツ(株)	執行役員 社会イノベーション事業本部長	
白木原 隆雄	(一社)計画・交通研究会	理事・事務局長	

	氏名	団体名	役職
	白水 靖郎	中央復建コンサルタンツ(株)	常務取締役 経営企画本部長
	杉原 克郎	(株)エスシー・マシーナリ	代表取締役社長
	関 克己	(公財)河川財団	理事長
	高木 博康	(株)オリエンタルコンサルタンツ	関東支社 道路部 副部長
	高橋 明	(株)日本政策投資銀行	地域調査部長
	高橋 健太郎	(株)熊谷組	土木事業本部 営業部 部長
	竹澤 正太郎	前田建設工業(株)	土木事業本部 副部長
	田代 裕一	パシフィックコンサルタンツ(株)	社会イノベーション事業本部 交通政策部 都市マネジメント室
	龍田 昌毅	日鉄物産(株)	プロジェクト開発部 担当部長
	谷山 喜彦	日鉄興和不動産(株)	開発企画本部 担当部長
	角田 光男	(一社)共同通信社	社友
	土井 一生	(株)みずほ銀行	社会・産業基盤インダストリーグループ長付参事役
	飛田 茂美	(一社)不動産協会	前 事務局長代理
	長澤 光太郎	(株)三菱総合研究所	専務執行役員 シンクタンク部門長
	永重 雅守	前田建設工業(株)	常務執行役員 土木事業本部 副本部長
	中嶋 さやか	五洋建設(株)	ICT 推進室 BIM/CIMグループ 担当課長
	中矢 昌希	中央復建コンサルタンツ(株)	総合技術本部 社会インフラマネジメントセンター 都市開発プロジェクト チーフマネージャー
	奈良 照一	(株)ドーコン	交通事業本部 交通部長
	栖館 学	日本シビックコンサルタント(株)	地下施設技術部 部長代理
	栖原 圭紘	パシフィックコンサルタンツ(株)	プロジェクト統括部 ビジネスインキュベーション室
	南光 繁	日本製鉄(株)	プロジェクト開発部 プロジェクト開発室 上席主幹
	仁賀木 康之	復建エンジニアリング(株)	事業推進部 部長
	服部 唯之	(株)ドーコン	東京支店 支店長
	林 敦	(株)みずほ銀行	執行理事 社会・産業基盤第二部長
	林 良嗣	中部大学	卓越教授
委員	深澤 淳志	(一財)日本建設情報総合センター	理事長
	藤井 健	首都高速道路(株)	代表取締役 専務執行役員
	堀江 弘和	(公財)名古屋まちづくり公社	名古屋都市センター事業部長
	正岡 和繁	日本シビックコンサルタント(株)	地下施設技術部 グループ長
	町村 俊彰	前田建設工業(株)	土木事業本部 営業第1部長
	松尾 直規	中部大学	名誉教授
	松崎 成伸	戸田建設(株)	本社土木営業第一部 課長
	松田 寛志	日本工営(株)	常務執行役員
	松谷 春敏	(株)IHI	顧問
	松友 登	西松建設(株)	執行役員 土木事業本部 副本部長
	松本 伸	(株)大林組	常務執行役員 土木本部 生産技術本部長
	丸岡 裕人	日鉄防食(株)	取締役企画管理部長 安全環境・品質統括部長
	丸山 隆英	東亜建設工業(株)	執行役員 常務
	水口 倫太郎	あおみ建設(株)	経営企画室長
	水谷 誠	(一社)日本建設業連合会	常務執行役員
	見附 敬三	(株)建設技術研究所	管理本部 副本部長
	三輪 恭之	森ビル都市企画(株)	事業企画部 部長補佐
	村尾 公一	東京都市大学	特任教授
	村田 浩隆	五洋建設(株)	横浜営業支店 支店長
	森山 真稔	(一社)建設コンサルタンツ協会	インフラストラクチャー研究所 研究員
	山崎 隆司	(株)JR東日本クロスステーション	常勤監査役
	山崎 智之	(株)日本政策投資銀行	都市開発部 次長
	吉川 正嗣	(株)建設技術研究所	顧問
	吉崎 収	(株)大林組	執行役員 土木本部 副本部長
	利穂 吉彦	鹿島建設(株)	常務執行役員 技術研究所長
	渡邊 恵一	東亜建設工業(株)	土木事業本部 プロジェクト部 担当部長

	氏名	団体名	役職
アドバイザー	浦田 秀樹	日本製鉄(株)	プロジェクト開発部 プロジェクト開発室長
	江守 昌弘	(株)建設技術研究所	常務執行役員 東京本社 副本社長
	金山 洋一	富山大学	都市デザイン学部都市・交通デザイン学科 教授
	木村 敬一	日鉄物産(株)	プロジェクト開発部 担当部長
	栗田 悟	(一社)北海道建設業協会	副会長
	酒井 芳一	(一社)建設コンサルタンツ協会	インフラストラクチャー研究会 事務局長
	長南 政宏	(株)建設技術研究所	東京本社都市部 PFI・PPP室 室長
	長谷川 専	(株)三菱総合研究所	営業本部 インダストリーマネージャー (スマートシティ担当)
	林 栄明	国際航業(株)	公共コンサルタント事業部 事業管理部 部長
吉川 大三	(株)安藤・間	営業本部 顧問	
事務局	丸川 裕之	(一社)日本プロジェクト産業協議会	専務理事・事務局長
	三浦 潔司	(一社)日本プロジェクト産業協議会	常務理事・事業企画部長
	箱田 泰史	(一社)日本プロジェクト産業協議会	元 事業企画部 部長(現 鹿島建設(株))
	齋藤 彰	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部 部長
	久保田 勝朗	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部 部長
	中川 雄一	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部 部長

国土造りプロジェクト構想 11  
～安全・快適で豊かな国土造りのために～

【 沖縄本島ツインゲートウェイ構想 】  
～北部空港整備と南北交流軸強化による沖縄北部振興～

---

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

発 行 2022年3月9日

発 行 所 一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会  
〒 103-0025

東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 6F

編集・印刷 株式会社 大應

©Japan Project-Industry Council 2022, Printed in Japan

